MITSUBISHI

48H124

三菱 電気 温水器

時間帯別電灯（通電制御型）／深夜電力 8時間（通電制御型）

取扱説明書

システム形名チェック欄 ❑ に、お買い上げの温水器をチェックしてください。（修理等のお問合わせの際にご利用ください。）

高圧力型

形名

- ❑ SRT-J37W4（エスアールテー ジェー ダブリュウ）
- ❑ SRT-J37WD4（エスアールテー ジェー ダブリュウ デー）
- ❑ SRT-J46W4
- ❑ SRT-J46WD4
- ❑ SRT-J46WDM4（エスアールテー ジェー ダブリュウ デー エム）
- ❑ SRT-J55W4
- ❑ SRT-J55WD4

最初にリモコンを確認ください 2

ご使用の前に 4〜7

リモコンの使いかた 8〜35

こんなとき 36〜48

故障かな 49〜55

●正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前にこの「取扱説明書」を必ず読み、大切に保管してください。

●お客さまご自身では据付けないでください。安全や機能の確保ができません。

●「保証書」「据付工事説明書」は、必ず所定の記載事項を確かめて、据付工事店（販売店）からお受け取りください。温水器を他に売ったり譲渡されるときなどには、次の所有者の方へ渡してください。

●「据付工事説明書」のとおりに据付工事が行われているか確認してください。

※「据付工事説明書」のチェックリストや工事完了後の確認（据付工事確認書）を活用ください。

最初にリモコンを確認ください

リモコンは、「インターホンタイプ」「ベーシックタイプ」の2タイプご用意しています。
ご使用の前に必ずリモコンのタイプを確認してください。

インターホンタイプ

- インターホン機能付き
- 音声ガイダンス機能付き
  （本書では「音声ガイダンス」と記載）
- スイッチ受付音あり
- 表示部バックライト機能付き

RMC-KD4

RMC-BD4

ベーシックタイプ

- インターホン機能なし
- 音声ガイダンス機能なし
- スイッチ受付音あり
- 表示部バックライト機能付き

RMC-K4

RMC-B4

もくじ

ご使用の前に

安全のために必ずお守りください …… 4
ご使用にあたってのお願い …… 6
各部のはたらき …… 7

リモコンの使いかた

よく使う機能

リモコンのはたらき …… 8
おふろにお湯を入れる …… 12
湯はりの温度を決める …… 14
湯はりの量を決める …… 15
「蛇口・シャワー」の温度を決める …… 16
追いだきをする …… 17
お湯をたす …… 18
ぬるくする …… 19
インターホンを使う …… 20
呼び出しをする …… 21
時刻を合わせる …… 22
予約した時間におふろにお湯を入れる …… 23
音声ガイダンスの音量を調節する …… 24
たくさんお湯を使う（満タンわき増し） …… 25
わき上げモードを設定する …… 26
ふろ自動運転の継続時間を変更する …… 28
数日間わき上げを停止するとき …… 29
自動消灯モード …… 30
タンク内温度、わき上げ状態を表示する …… 31
電力使用量、お湯の使用量を表示する …… 32
凍結予防運転を入/切する …… 33
自動たし湯を入/切する …… 33
洗浄 …… 34
サブリモコンをご使用の場合 …… 35

こんなとき

お手入れと点検 …… 36
凍結防止 …… 38
停電・断水時（水が濁る）など …… 39
温水器を使用しないとき …… 40
タンクに水を入れる（準備） …… 42
災害時にタンクの水を取り出す …… 44
定期点検（有料） …… 45
温水器の役割など …… 46
仕様 …… 48

故障かな

故障かな?と思ったら …… 49
リモコンにエラーが表示された場合 …… 53
アフターサービス …… 54

ご使用の手順

①必ずお読みください。

「安全のために必ずお守りください」P4
「ご使用にあたってのお願い」P6

※お使いになる際に、必ず守っていただきたいことが記載してあります。

②台所リモコンの表示を確認します。

表示が点灯している

▶そのままご使用できます。（③へ）

点灯時（例）

「残湯あり」の表示がでている場合
時間帯別電灯でご契約のお客さまは、満タンスイッチを押してください。
約8時間でタンク全体のお湯をわかします。

表示が消灯している

または

タンクに水が入っていない方

▶タンクに水を入れるP42に従ってください。

③お湯を使ってみましょう。

蛇口やシャワーを使う

- 蛇口やシャワーの温度を決める

おふろに入る

- 湯はりの温度と量を決める
- おふろにお湯を入れる

④お手入れをします。

- 日常のお手入れ P36
  時刻の確認・浴槽アダプターの掃除・注水洗浄など
- 1年に2～3回のお手入れ P36

早見表

おふろにお湯を入れる　ふろ自動　P12
湯はりの温度を決める　△温度▽　P14
湯はりの量を決める　＋湯量－　P15
「蛇口・シャワー」の温度を決める　優先▶△温度▽　P16
追いだきをする　あつく（3秒押し）　P17
お湯をたす　たっぷり　P18
ぬるくする　ぬるく　P19
インターホンを使う（インターホンタイプのみ）　通話　P20
呼び出す（ベーシックタイプのみ）　呼出　P21
時刻を合わせる　時計合わせ▶△選択▽　3秒押し　P22
わき上げモードを設定する　わき上げ設定　P26

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があります。	⚠注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつきます。

■本文中に使われる図記号の意味は次のとおりです。

禁止	接触禁止	分解禁止	指示に従う	アース工事確認

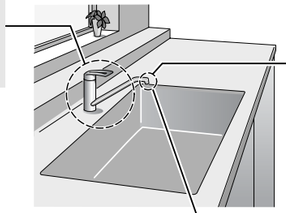
■機器に使われる図記号の意味は次のとおりです。

感電注意	高温注意	発火注意

やけどを防ぐために!

⚠警告

給湯時は湯水混合栓に手を触れない



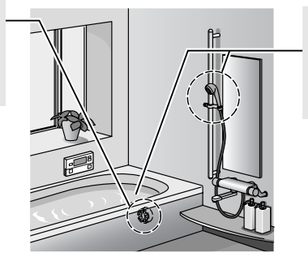
使いはじめは、湯温を確認する

特に朝の使いはじめは、しばらくお湯に触れないでください。空気の混ざった湯が飛び散ることがあります。

停電時の給湯は、必ず指先などで湯温を確認する

設定温度と異なる温度のお湯が蛇口から出ることがあります。

「追いだき」使用時は、浴槽アダプターから離れる



入浴時やシャワー使用時は、必ず、指先などで湯温を確認する

給湯温度を変更するときは、他の蛇口の使用状況を確認する

部品名は各部のはたらき（ P7 ）をご覧ください。

安全に使用するために

⚠警告

浴槽アダプターのフィルターを外したまま使用しない
（髪の毛や体の一部を吸い込まれるなど思わぬ事故の原因）

前面カバーや工事用窓を開けない、温水器やリモコンを分解・改造しない
（漏電や感電・火災の原因）

近くにガス類や引火物を置かない
（ガスボンベからは2m以上離す。）
（火災の原因）

異常（こげ臭いなど）時は、漏電遮断器（2カ所）の電源レバーを下げて電源を「切」にし、お買い上げの販売店または修理窓口 P55 へ連絡する
（火災・感電・やけどの原因）

⚠注意

浴槽アダプターをふさがない
（配管破損・水漏れの原因）

そのまま飲用しない

長期間のご使用によってタンク内に水あかがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度ヤカンなどで沸騰させてください。

- 水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用する。
- 熱いお湯が出てくるまでの配管にたまっている水は、雑用水として使用する。
- 固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずに直ちに、据付工事店（販売店）へ点検を依頼する。

温水器に乗ったり、物を乗せたり、配管に力を加えたりしない
（事故・やけどの原因）

通電はタンクを満水にしてから行う
（ヒーターが過熱して故障の原因）

点検・お手入れに関する注意

⚠警告

逃し弁の点検をする（タンク、配管破損・水漏れ・やけどの原因）
点検時は内部の配管に手を触れないでください。

漏電遮断器（2カ所）の動作を確認する（感電の原因）

アース工事を確認する（感電の原因）
アースの取付けは、据付工事店（販売店）へお問い合わせください。

⚠注意

凍結防止対策の確認をする P38
（タンク、配管破損・水漏れ・やけどの原因）

操作カバー・操作窓は閉じる
（漏電や感電の原因）

床面が防水・排水処理されているか据付工事店（販売店）へ確認する
（水漏れによる損害の原因）

長期間使用しないとき、使用を再開するとき

⚠警告

温水器を使用しないときは、本書の手順にしたがい、温水器内の水を確実に抜く P40
（凍結による機器破損の原因）
排水時はお湯に手を触れないでください。

⚠注意

初めて使用するときや、使用を再開するときは、本書の手順にしたがう P42

ご使用にあたってのお願い

お湯を上手に使う

●貯湯式なので1日に使用できるお湯の量は限りがあります。

●シャワーは止めながら（髪を洗っているときは止めましょう。）

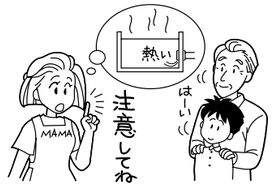
●洗いものをするときも止めながら

流しっぱなしで使用すると、湯切れの原因になります。

●翌日におふろをわかし直し（追いだき）するよりも、再度、湯はりをした方が効率的です。

「追いだき」についてのお願い

追いだきを行うと、浴槽アダプターから、熱いお湯が出ます。お子さまや高齢者の方の取扱いについては、特に注意してください。



安全のため、あつくスイッチは3秒以上押さないとお湯が出ません。

入浴剤を使うときのお願い

●「花王株式会社製バブシリーズ」の入浴剤はご使用できます。ただし、「バブミルキー（白濁タイプ）」はご使用できません。

●「花王株式会社製バブシリーズ」以外で下記のような入浴剤は使用しないでください。

- ●炭酸ガスにより発泡させるもの
- ●硫黄成分が含まれるもの
- ●塩化ナトリウムを含むもの
- ●炭酸カルシウムを含むもの（濁り湯状にさせるもの）

（ふろ循環ポンプの不具合や配管等の金属腐食の原因）

注1.入浴剤を溶かしたお湯を追いだきすると、ごくまれに配管の汚れが出てくることがあります。
注2.使用上の注意については、入浴剤の注意事項をよくお読みください。

必ず水道水をご使用ください

●必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。ただし、水質によっては、タンク・減圧弁・逃し弁等の寿命が通常より短くなることがあります。

●特に温泉水・地下水・井戸水のご使用は機器をご使用いただく期間の水質が、常に水道法の定める水質基準内である担保が取れないため、使用しないでください。（水質に起因した不具合が発生した場合、無償保証できません。）

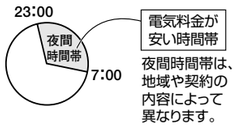
定期点検の実施

温水器を少しでも長くお使いいただくため、3～4年に1度、定期点検（有料）を行なってください。

夜間時間帯のご使用について

この温水器は主に、夜間時間帯にお湯をわかしますので、**この時間帯にお湯を使うと、昼間にわき増しを行い電気代が高くなる場合があります。**

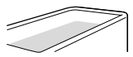
（時間帯別電灯契約の場合）



夜間時間帯は、地域や契約の内容によって異なります。

お湯の温度が低い

●浴槽内の温度は、配管や浴槽の放熱によって、設定温度より低くなることがあります。



●蛇口で使用するお湯は、配管の放熱によって、設定温度より低くなることがあります。低いと感じた場合は、設定温度を上げてください。

リモコンの時刻を確認する

リモコンの時刻がずれた場合は、台所リモコンで時刻を合わせ直してください。

時刻がずれていると、電気料金は割高になります。

機器の設置状況などを確認する

以下の場所に設置されている場合は、事故や故障などの原因となりますので、据付工事店（販売店）へご連絡ください。

- ●水平でない場所、不安定な場所、排水のしにくい場所
- ●階段・避難口などの付近で避難の支障となる場所
- ●冠水する可能性のある場所

浴槽等の点検

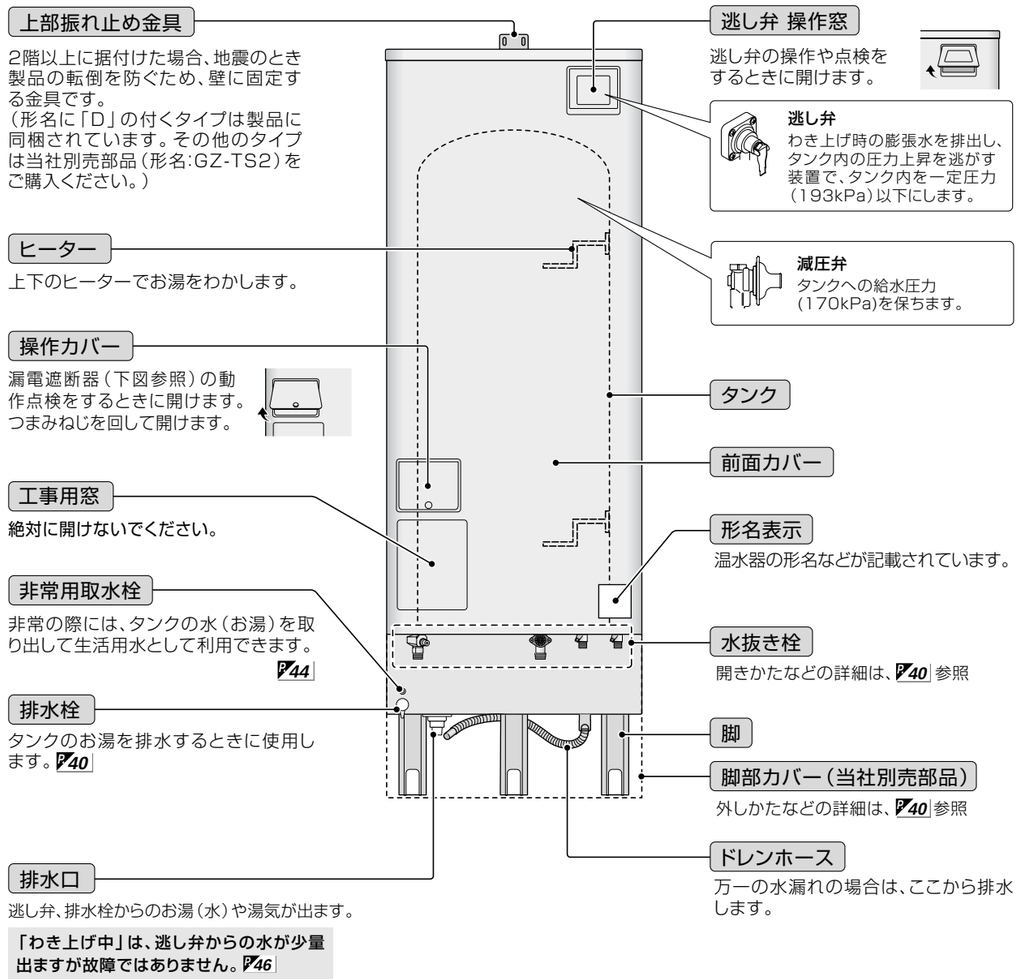
- ●浴槽アダプターのフィルターにゴミが詰まると、追いだき等のふろ機能が正常に動作しない場合があります。こまめにお手入れを行なってください。
- ●浴槽や洗面台はよく洗ってください。青い線が付きにくくなります。

リモコンに水をかけない

- ●台所リモコンは防水タイプではありません。水をかけないでください。（故障の原因）
- ●浴室リモコンは防水タイプですが、なるべく水をかけないでください。（故障の原因）

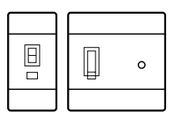
各部のはたらき

温水器本体 機種によって部品の取付位置や形状が異なります。

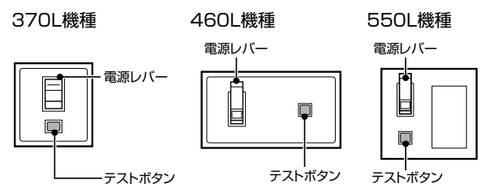


この温水器は、わき上げ用（向かって右側）と制御用（左側）の2つの漏電遮断器が付いています。
わき上げ用の漏電遮断器は、機種により形状が異なります。

（1）漏電遮断器



（2）わき上げ用漏電遮断器の形状

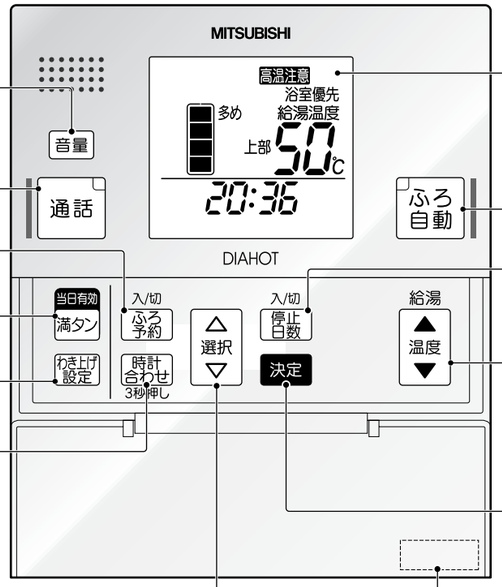


リモコンのはたらき（インターホンタイプ）

台所リモコン

ふたを開けた状態です。

形名:RMC-KD4（アールエムシー ケーデー）



音声ガイダンスの音量、通話音量を設定できます。 P20 P24

浴室リモコンと通話できます。 P20

予約した時間におふろにお湯をはれます。 P23

タンク内の湯のわき増しができます。 P25

わき上げモードを設定します。 P26

現在時刻を設定したり、変更するとき使用します。 P22

各機能の設定値を変更するスイッチです。また、スマート機能の表示・設定中は、下記スマート機能の選択を行えるようになります。

バックライト付き

※約1分間以上、スイッチ操作がない状態が続くと、自動的にバックライトが消灯します。（バックライト自動消灯機能）

おふろにお湯をはれます。 P12

数日間温水器のわき上げを停止するときに使用します。 P29

蛇口やシャワーに行くお湯の温度を設定できます。 P16

また、スマート機能の設定を変更するスイッチです。

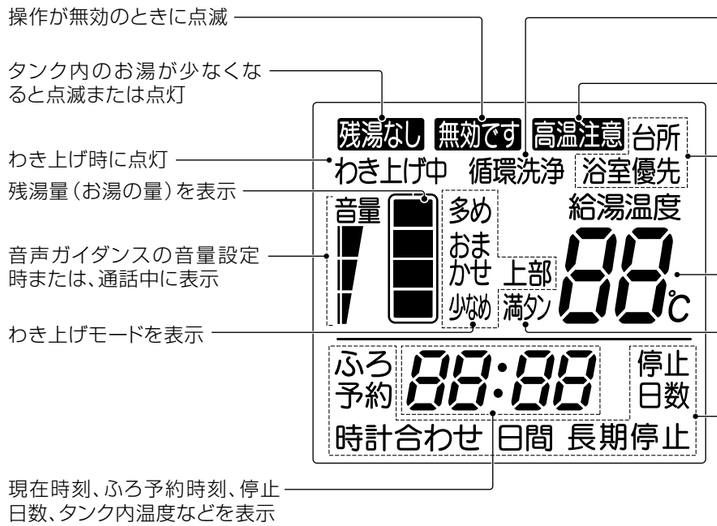
各機能の設定値を確定するスイッチです。また、3秒押しでスマート機能の表示・設定を行えるようになります。

リモコン形名表示

〈スマート機能〉（台所リモコン）

- タンク内温度表示 P31
- わき上げ状態表示 P31
- 昼夜間電力使用量表示 P32
- お湯の使用量表示 P32
- 電力契約モード確認 P43

表示部（説明のため、画面はすべての表示が点灯した状態にしてあります。）



操作が無効のときに点滅

タンク内のお湯が少なくなると点滅または点灯

わき上げ時に点灯

残湯量（お湯の量）を表示

音声ガイダンスの音量設定時または、通話中に表示

わき上げモードを表示

現在時刻、ふろ予約時刻、停止日数、タンク内温度などを表示

循環洗浄中に表示

高温（50℃、60℃）の給湯温度設定時に点灯

給湯温度を変更できるリモコンを表示

給湯温度を表示

満タンわき増し設定時に点灯

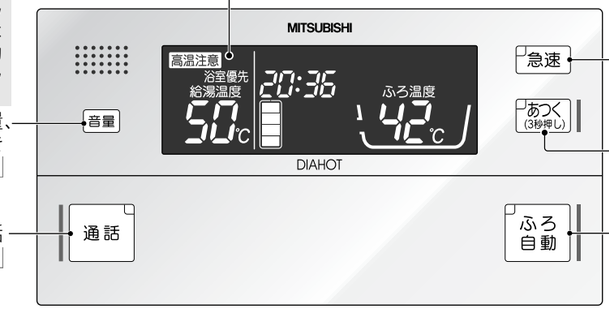
現在時刻、ふろ予約時刻、停止日数の設定時に表示

浴室リモコン

バックライト付き

※自動消灯モード設定中は、約10分間以上、スイッチ操作や給湯動作がない状態が続くと、自動的にバックライトが消灯します。

形名:RMC-BD4（アールエムシー ビーデー）



音声ガイダンスの音量、通話音量を設定できます。 P20 P24

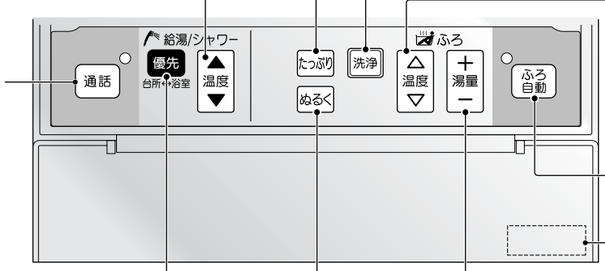
台所リモコンと通話できます。 P20

おふろのあたためかたを切り替えます。 P17

おふろの温度を上げます。 P17

おふろにお湯をはれます。 P12

ふたを開けた状態



蛇口やシャワーに行くお湯の温度を設定できます。 P16

また、スマート機能を選択するスイッチです。

台所リモコンと通話できます。 P20

給湯温度が変更可能なリモコンを切り替えます。3秒押しで自動消灯モードの設定／解除を行えます。 P16 P30

おふろにさし水をして温度を下げます。 P19

おふろにたし湯をします。 P18

ふろ配管内の洗浄をします。 P34

湯はりの温度を設定します。 P14

また、スマート機能の設定を変更するスイッチです。

おふろにお湯をはれます。 P12

リモコン形名表示

湯はりの量を設定します。 P15

「－」の3秒押しでスマート機能の設定を行えるようになります。

〈スマート機能〉（浴室リモコン）

- ふろ自動継続時間 P28
- 凍結予防運転 P33
- 自動たし湯モード P33

表示部（説明のため、画面はすべての表示が点灯した状態にしてあります。）

現在時刻などを表示

給湯温度を変更できるリモコンを表示

高温（50℃、60℃）の給湯温度設定時に点灯

音声ガイダンスの音量設定時または、通話中に表示

給湯温度を表示

残湯量（お湯の量）を表示

各機能（たっぷり、ぬるく、注水洗浄、循環洗浄、凍結予防）の動作中に点灯

タンク内のお湯が少なくなると点滅または点灯

各機能（追いだき、たし湯、保温）の動作中に点灯

操作が無効のときに点滅

通常は湯はり温度を表示（湯はり湯量設定時は湯量を表示）

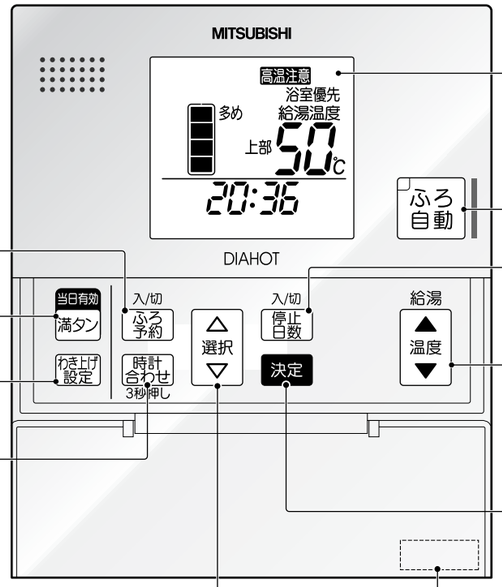
おふろへの給湯状態を表示

リモコンのはたらき（ベーシックタイプ）

台所リモコン

ふたを開けた状態です。

形名:RMC-K4（アールエムシー ケー）

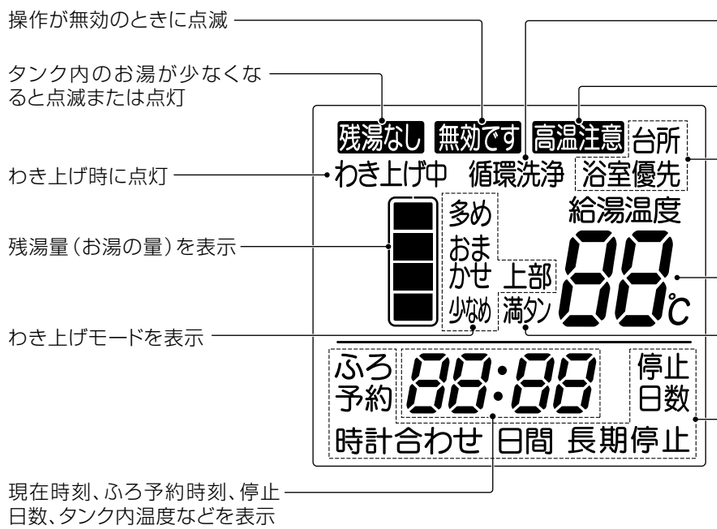


- バックライト付き
  ※約1分間以上、スイッチ操作がない状態が続くと、自動的にバックライトが消灯します。（バックライト自動消灯機能）
- おふろにお湯をはれます。 P12
- 予約した時間におふろにお湯をはれます。 P23
- 数日間温水器のわき上げを停止するときに使用します。 P29
- タンク内の湯のわき増しができます。 P25
- 蛇口やシャワーに行くお湯の温度を設定できます。 P16
- わき上げモードを設定します。 P26
- また、スマート機能の設定を変更するスイッチです。
- 現在時刻を設定したり、変更するとき使用します。 P22
- 各機能の設定値を確定するスイッチです。また、3秒押しでスマート機能の表示・設定を行えるようになります。
- 各機能の設定値を変更するスイッチです。また、スマート機能の表示・設定中は、下記スマート機能の選択を行えるようになります。
- リモコン形名表示

〈スマート機能〉（台所リモコン）

- タンク内温度表示 P31
- わき上げ状態表示 P31
- 昼夜間電力使用量表示 P32
- お湯の使用量表示 P32
- 電力契約モード確認 P43

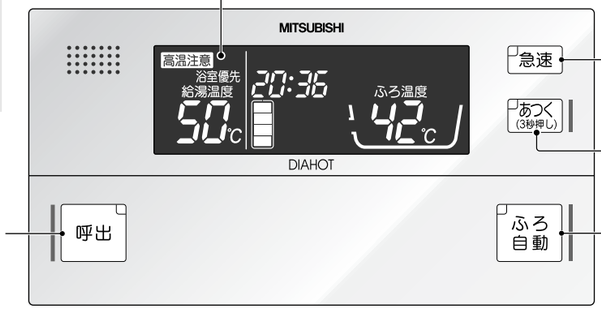
表示部（説明のため、画面はすべての表示が点灯した状態にしてあります。）



- 操作が無効のときに点滅
- 循環洗浄中に表示
- タンク内のお湯が少なくなると点滅または点灯
- 高温（50℃、60℃）の給湯温度設定時に点灯
- わき上げ時に点灯
- 給湯温度を変更できるリモコンを表示
- 残湯量（お湯の量）を表示
- 給湯温度を表示
- わき上げモードを表示
- 満タンわき増し設定時に点灯
- 現在時刻、ふろ予約時刻、停止日数の設定時に表示
- 現在時刻、ふろ予約時刻、停止日数、タンク内温度などを表示

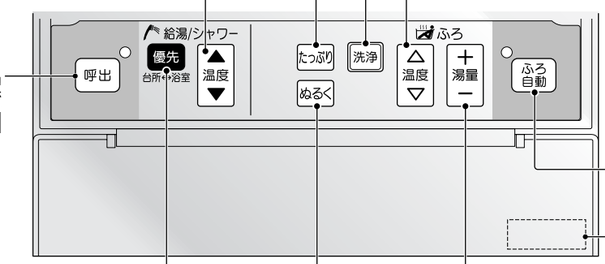
浴室リモコン

形名:RMC-B4（アールエムシー ビー）



- バックライト付き
  ※自動消灯モード設定中は、約10分間以上、スイッチ操作や給湯動作がない状態が続くと、自動的にバックライトが消灯します。
- おふろのあたためかたを切り替えます。 P17
- おふろの温度を上げます。 P17
- 台所リモコンで呼出音を鳴らすことができます。 P21
- おふろにお湯をはれます。 P12

ふたを開けた状態



- おふろにたし湯をします。 P18
- 蛇口やシャワーに行くお湯の温度を設定できます。 P16
- ふろ配管内の洗浄をします。 P34
- また、スマート機能を選択するスイッチです。
- 湯はりの温度を設定します。 P14
- また、スマート機能の設定を変更するスイッチです。
- 台所リモコンで呼出音を鳴らすことができます。 P21
- おふろにお湯をはれます。 P12
- リモコン形名表示
- 湯はりの量を設定します。 P15
  「−」の3秒押しでスマート機能の設定を行えるようになります。
- 給湯温度が変更可能なリモコンを切り替えます。3秒押しで自動消灯モードの設定／解除を行えます。 P16 P30
- おふろにさし水をして温度を下げます。 P19

〈スマート機能〉（浴室リモコン）

- ふろ自動継続時間 P28
- 凍結予防運転 P33
- 自動たし湯モード P33

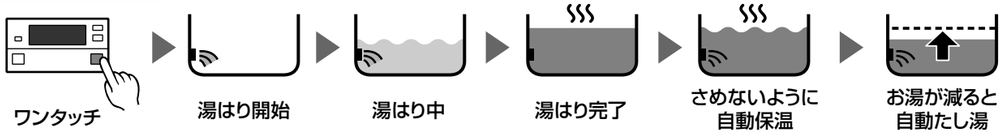
表示部（説明のため、画面はすべての表示が点灯した状態にしてあります。）

- 現在時刻などを表示
- タンク内のお湯が少なくなると点滅または点灯
- 給湯温度を変更できるリモコンを表示
- 各機能（追いだき、たし湯、保温）の動作中に点灯
- 高温（50℃、60℃）の給湯温度設定時に点灯
- 操作が無効のときに点滅
- 給湯温度を表示
- 通常は湯はり温度を表示（湯はり湯量設定時は湯量を表示）
- 残湯量（お湯の量）を表示
- 各機能（たっぷり、ぬるく、注水洗浄、循環洗浄、凍結予防）の動作中に点灯
- おふろへの給湯状態を表示

おふろにお湯を入れる

この温水器は、おふろにワンタッチの自動運転（**ふろ自動運転**）でお湯を入れて使います。

ふろ自動運転



湯はり完了後、設定された時間の間、おふろの温度とお湯の量を保つ運転（「自動保温」、「自動たし湯」）がはたらきます。「自動保温」、「自動たし湯」の継続時間は4時間（工場出荷時）に設定されています。（変更可能 P28）
また、「自動保温」のみ行い、「自動たし湯」は行わないようにすることもできます。（P33）

ポイント

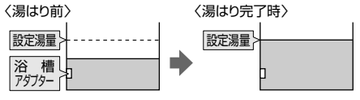
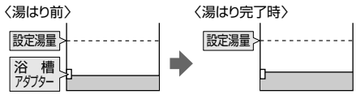
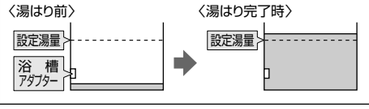
- リモコンに「残湯なし」が点灯している場合は、湯はりできません。湯はり完了後に「残湯なし」が点灯している場合は「自動保温」、「自動たし湯」は、はたらきません。
- 湯はり中に蛇口からおふろにお湯（水）を入れないでください。
- 湯はり中にシャワーや台所などでお湯を使うと湯はりの時間が長くなります。
- 湯はりが完了する前に（ふろ自動ランプが点滅しているときに）おふろに入らないでください。浴槽の水位が高くなったり、あふれたりすることがあります。
- 湯はり中に**水位確認のため湯はりを中断することがあります。**ふろ自動ランプが点滅していれば正常です。
- 湯はり時間は、配管施工上の条件や水源水圧、蛇口などの使用状況により、多少変わることがあります。また、**設置後1週間程度は、浴槽形状を学習するため、湯はり時間が長くなります。**
- 湯はり中またはふろ自動運転中にポンプが空気を吸い込む音がする場合があります。湯はりが完了すると音はしなくなります。異常ではありません。
- 「自動保温」、「自動たし湯」中に、浴槽の湯を使用するなどして浴槽アダプター付近まで水位が低下すると、ふろ自動ランプが消灯したり、ふろ自動ランプ点灯中でも「自動たし湯」がはたらかなくなります。

こんなときは?

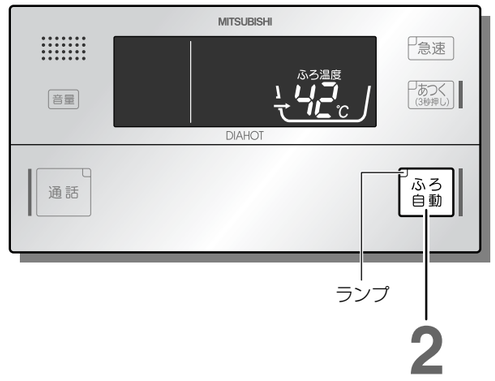
❑ジェットバスを使用する場合は、湯はり完了後にふろ自動を「切」にしてください。

❑**浴槽に残り湯があるときにふろ自動スイッチを押すと、残り湯の量によって湯はり動作が異なります。**

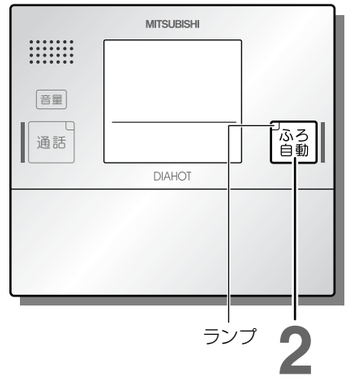
残り湯の状態によって、湯があふれたり、湯がたされないなど、湯量が安定しないことがありますので、**残り湯を排水してから湯はりすることをおすすめします。**

残り湯が浴槽アダプターより多いとき		設定温度まで追いだきしてから、設定湯量までお湯をたします。通常の湯はりと同様に、設定した温度・水位で湯はりが完了します。 なお、湯はり開始時に設定湯量以上の湯がある場合は、呼び水分だけお湯が増えます。
残り湯が浴槽アダプター付近のとき		お湯はりが途中で中断されたり、残り湯分だけお湯が増える場合があります。残り湯を排水してから湯はりを行なってください。
残り湯が浴槽アダプターより少ないとき		湯はり完了時に、残り湯分だけ、お湯が増えます。また、温度も設定した温度より低くなります。（お湯があふれる場合がありますので残り湯を排水してから湯はりすることをおすすめします。）

浴室リモコン（インターホンタイプで説明しています。）



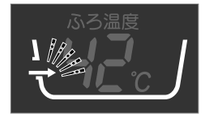
台所リモコン（インターホンタイプで説明しています。）



1 おふろに水がないことを確認し、おふろの栓、ふたをする

- 湯はり温度の設定方法 P14
- 湯はり量の設定方法 P15

2 ふろ自動 を押す



▶湯はりが始まります。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

- 湯はり中は、ふろ自動ランプが点滅します。
- 途中でやめるときは、もう一度、ふろ自動スイッチを押します。
- 浴室リモコンは、ふたを開けたままスイッチを押すこともできます。
- [ ]:点灯、[ ]:点滅

3 湯はりが終わると 音声、完了音でお知らせします

（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

- ふろ自動ランプが点灯にかわります。

4 設定された時間の間、「自動保温」、「自動たし湯」が働きます。

自動保温中

自動たし湯中

- 「自動保温」、「自動たし湯」は設定時間になると終了（ふろ自動ランプ消灯）しますが、再度、ふろ自動スイッチを押すと延長されます。
- **「自動保温」、「自動たし湯」中に「残湯なし」が点灯すると、ふろ自動ランプが消灯します。** P47

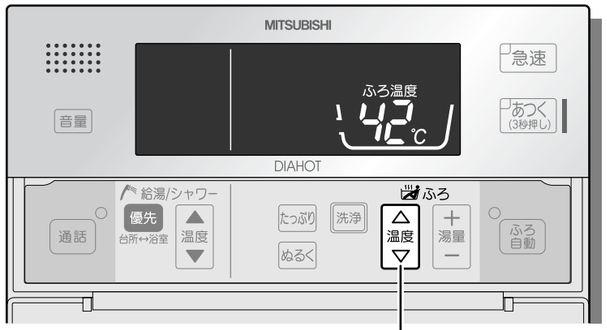
❑ 入浴後は、ふろ自動ランプが消灯していることを確認し、お湯を排水して、注水洗浄（P34）を行う

- 排水するときは、ふろ自動ランプが消灯（ふろ自動ランプが点灯している場合は、ふろ自動スイッチを押し消灯させてください。）していることを確認してください。自動たし湯機能がはたらき、お湯がムダになります。

湯はりの温度を決める

最初の数回は、お好みに合わせて設定してください。

浴室リモコン（インターホンタイプで説明しています。）



●設定できる範囲

温度	35℃～48℃（1℃刻み） 工場出荷時は42℃

※温度は目安です。

1 ふろ温度スイッチを押して温度を設定する

▶△を押すと1℃上がります。
▽を押すと1℃下がります。

▶設定完了です。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

例）42℃

●湯はりの「温度」は目安温度です。浴槽内の温度は配管や浴槽に熱をうばわれるため、それよりも少し下がることがあります。湯はり後の浴槽内温度が低い場合は、次回から湯はりの温度を上げて湯はりをしてください。

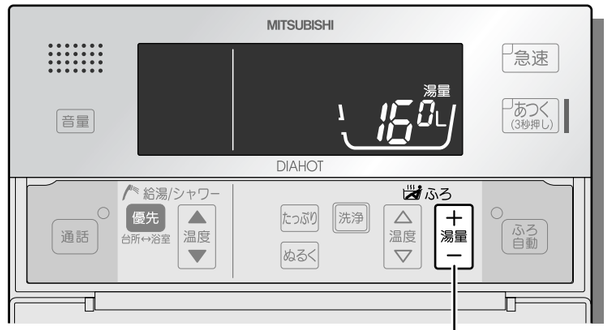
ポイント

- **湯はりの「温度」は目安温度です。**浴槽内の温度は配管や浴槽に熱をうばわれるため、設定温度よりも少し下がることがあります。湯はり直後の浴槽内温度が低い場合は、次回から湯はり温度を上げて湯はりをしてください。
- 湯はり中やふろ自動中でも、湯はり温度を変更できます。ただし、湯はりが完了したときの温度が設定と異なる場合があります。

湯はりの量を決める

最初の数回は、お好みに合わせて設定してください。

浴室リモコン（インターホンタイプで説明しています。）



●設定できる範囲

量	100L～400L（20L刻み） 工場出荷時は180L

※量は目安です。

1 ふろ湯量スイッチを押す

▶ふろ温度が消灯し、ふろ湯量の現在の設定値が表示されます。

例）180L

2 ふろ湯量スイッチを押して湯量を設定する

▶＋を押すと20L上がります。
－を押すと20L下がります。

▶設定完了です。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

例）160L

ポイント

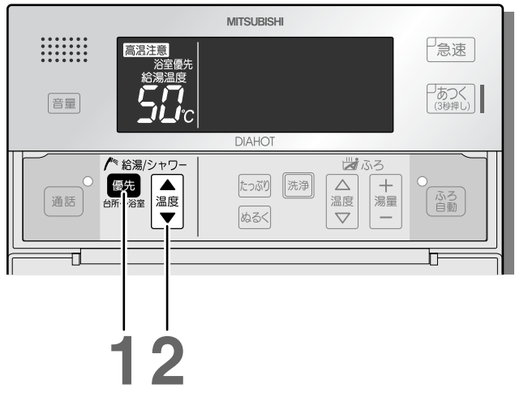
- **湯はりの量を設定するときは、最初は浴槽に対して少なめに設定してください。**ただし、浴槽アダプターが水中にかくれるように設定してください。
- 湯はり中やふろ自動中でも、湯はり湯量を変更できます。ただし、湯はりが完了したときの湯量が設定と異なる場合があります。

「蛇口・シャワー」の温度を決める

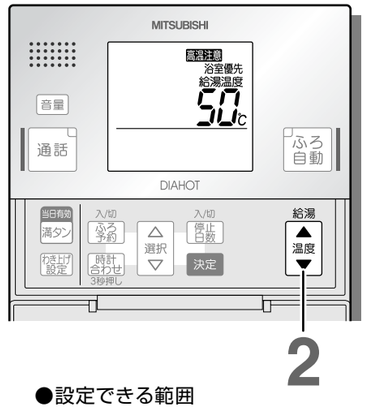
給湯温度（蛇口・シャワーへ行くお湯の温度）は、「優先権※」のないリモコンでは設定できません。

※浴室リモコンか台所リモコンのどちらか一方で給湯温度変更をできるようにすることを、そのリモコンに「優先権」を与えると呼んでいます。
例えば、浴室でシャワーを浴びているときに台所リモコンで蛇口のお湯を熱くすると、熱いお湯が出る可能性があります。この場合は、台所リモコンでの温度変更を禁止させるため、浴室リモコンに「優先権」を与えてください。

浴室リモコン（インターホンタイプで説明しています。）



台所リモコン（インターホンタイプで説明しています。）



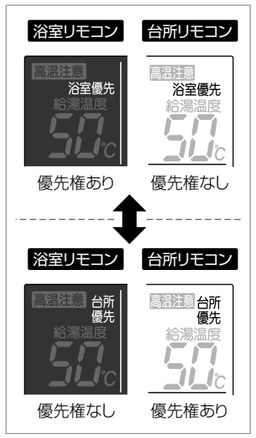
●設定できる範囲

35℃～48℃（1℃刻み）／50℃／60℃
工場出荷時は50℃

※温度は目安です。

1 浴室リモコンの 優先 を押す

▶押すごとに、優先権が移ります。
インターホンタイプは、優先権をもったリモコンが音声でお知らせします。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

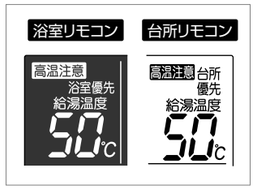


- 工場出荷時は浴室リモコンに優先権があります。
- リモコンに「優先権」がなくなったときは警告音が鳴ります。インターホンタイプは、優先権をもったリモコンが音声でお知らせします。給湯温度の表示を確認し、お湯を使用してください。
- 優先権を台所リモコンから浴室リモコンに変更した場合、給湯温度は、以前に浴室リモコンで設定された温度となります。
  一方、優先権を浴室リモコンから台所リモコンに変更した場合、給湯温度は変わりません。

2 優先権のあるリモコンの 給湯温度設定スイッチを押して 給湯温度を設定する

▶[▲]を押すと温度が上がります。
[▼]を押すと温度が下がります。

▶設定完了です。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）



- 給湯温度を50℃または60℃に設定した場合、リモコンに「高温注意」が表示されます。
  60℃に設定した場合は各リモコンから警告音が鳴ります。（インターホンタイプは、音声ガイダンスも流れます。）

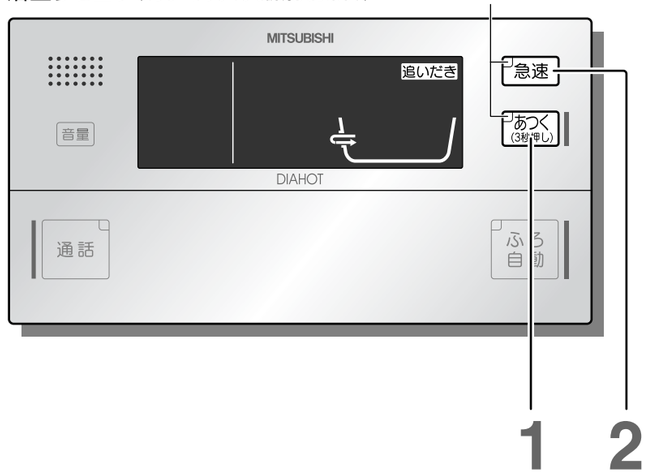
ポイント

- タンク内の温度が低いとき（特にわき上げモードが「少なめ」の場合など）は、設定より低い温度のお湯が出ることがあります。
- 蛇口から出るお湯は、配管部分の放熱によって低くなることがあります。
- 給湯中に湯はり、自動たし湯、たっぷり、ぬるくをすると給湯温度が多少変動することがあります。
- サーモスタット付湯水混合栓の場合は、給湯温度設定を使用するお湯の温度より10℃以上高くしてください。また、シャワー出湯量が少ない場合は、給湯温度設定を60℃にし、水と混ぜてご使用ください。

追いだきをする

おふろの温度を上げたいとき（追いだき）に使います。
湯はり温度まで追いだきを行います。（自動で停止）

浴室リモコン（インターホンタイプで説明しています。）



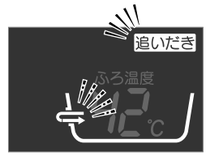
⚠警告

- 入浴するときは、浴槽の温度を指先等で確認する
- 追いだきをするときは、浴槽アダプターから離れる

（やけどの原因）

1 あつく (3秒押し) を3秒以上押す

▶追いだきが始まります。浴槽アダプターから熱いお湯が出ます。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

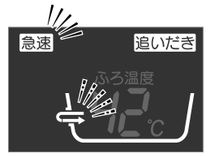


- 動作中は、あつくランプが点灯します。
- **途中でやめるときは、もう一度、あつくスイッチを押します。**（あつくランプ、表示部の「追いだき」「⇄」が消灯します。）
- [≋]:点灯、[≋]:点滅

〈すばやくあたためたいときは〉

2 追いだき中に 急速 を押す

▶急速追いだきが始まります。浴槽アダプターから熱いお湯が出ます。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）



- 動作中は、急速ランプが点灯します。
- 急速追いだき中に、もう一度、急速スイッチを押すと、通常の追いだきに戻ります。
  （急速ランプ、表示部の「急速」が消灯します。）

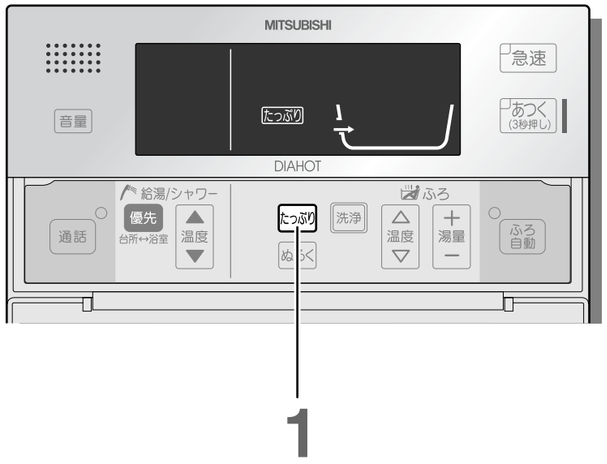
ポイント

- 追いだきはタンク内のお湯の熱を利用しています。そのため、使い方によっては、お湯が不足したり、追いだきができなくなることがありますので、わき上げモードを「おまかせ」または「多め」に設定してご使用いただくことをおすすめします。
- すでにおふろの温度が設定温度以上になっているときに押すと、現在のおふろの温度から約2℃上げるように（最高で48℃まで）追いだきを行います。
- リモコンに「残湯なし」が表示されているときは、タンク内に追いだき可能なお湯がないため、追いだきは使用できません。
- タンク内の湯温が低いと、追いだきが途中で停止（「残湯なし」表示）することがあります。

お湯をたす

湯はりをするときに設定した温度のお湯（約20L）が浴槽に入ります。（自動で停止）

浴室リモコン（インターホンタイプで説明しています。）



1 たっぷり を押す

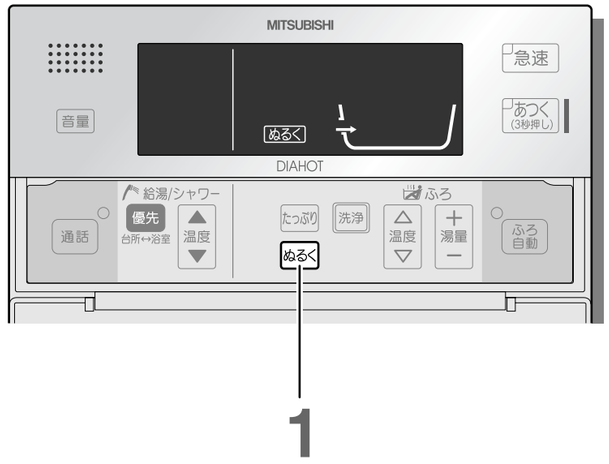
▶浴槽アダプターからお湯が出ます。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

- リモコンに「残湯なし」が点灯している場合、たっぷりは使用できません。
- **途中でやめるときは、もう一度、たっぷりスイッチを押します。**
- [ ]:点灯、[ ]:点滅

ぬるくする

湯はりをするときに設定したおふろの温度を約1℃下げるために必要な水が浴槽に入ります。
（最大で約20L、自動で停止）

浴室リモコン（インターホンタイプで説明しています。）



1 ぬるく を押す

▶浴槽アダプターから水が出ます。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

- **途中でやめるときは、もう一度、ぬるくスイッチを押します。**
- [ ]:点灯、[ ]:点滅

ポイント
- ふろ自動運転中にぬるくスイッチを押した場合、約30分間自動保温を行いません。ただし、追いだき（P17）は使用できます。

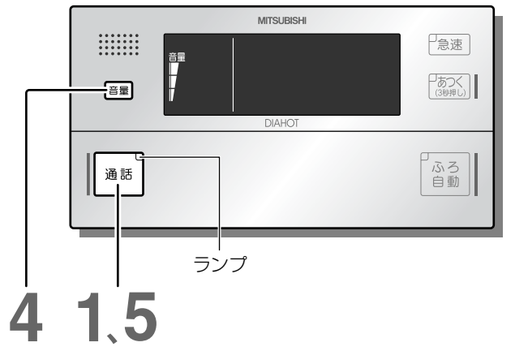
インターホンタイプ

インターホンを使う

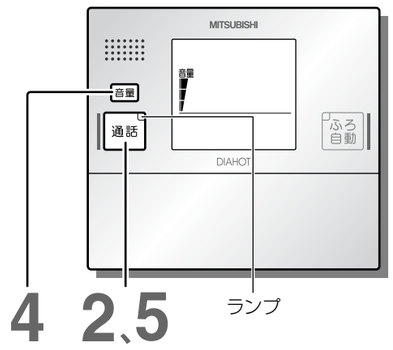
浴室リモコンと台所リモコンの間でインターホンとして会話ができます。
相手側はスイッチを押さなくても会話できます。

例）浴室から呼び出す場合（台所からも呼び出せます。）

浴室リモコン



台所リモコン



1 浴室リモコンの **通話** を押す

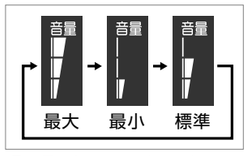
- 通話ランプが点滅します。
- 浴室リモコンは、浴室リモコンのふたを開けたまま、通話することもできます。

2 台所リモコンの呼出音が鳴り、通話ランプが点灯します。

- 浴室リモコンの呼出音も鳴ります。

3 音量ゲージが表示されたら、そのまま通話できます。

4 通話音量を変えるときは、通話中に **音量** を押す



押すごとに、音量がかわります。

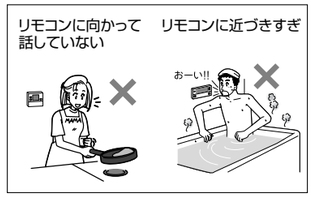
- 通話中に行なってください。通話中以外に音量スイッチを押すと、音声ガイダンスの音量の変更となります。
- 通話音量は、台所リモコンと浴室リモコンでそれぞれ別々に設定できます。
- 工場出荷時は「最大」に設定されています。

5 通話をやめるときはどちらかの **通話** を押す

- 通話ランプが消灯します。音量ゲージも消灯します。
- 通話スイッチを押さなくても約60秒で自動的に終了します。

ポイント

- 通話するときは、リモコンに向かって約30cm程度の距離で話してください。（近すぎると相手側で聞き取りにくくなります。）
- **周囲の環境（ペットの鳴き声やテレビなどの雑音の大きい場所）や会話の仕方（声が小さいなど）によっては、通話が途切れる場合があります。テレビはボリュームを下げるか消音にして通話を行なってください。**
- 一度に両方のリモコンで話すとうまく会話ができません。交互に会話してください。
- 通話中は、スイッチを押してもブザー音や音声ガイダンスは出ません。
- 通話スイッチを連続して押すと雑音が発生することがあります。
- 通話中にハウリング（スピーカーから「ピー」という音が出る）が起きた場合は、通話音量を下げてください。
- サブリモコン（オプション）には、インターホン機能はありません。（呼び出しもできません。）

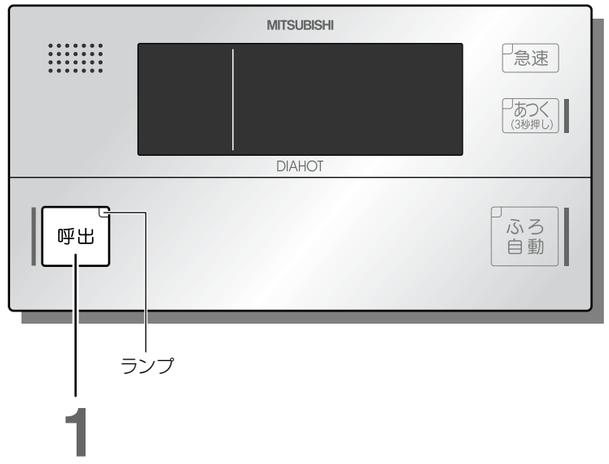


ベーシックタイプ

呼び出しをする

呼出スイッチを押すと、台所リモコンで呼出音が約10秒間鳴ります。

浴室リモコン



1 **呼出** を押す

▶呼出ランプが点灯します。

- ふたを開けたまま、呼び出すこともできます。

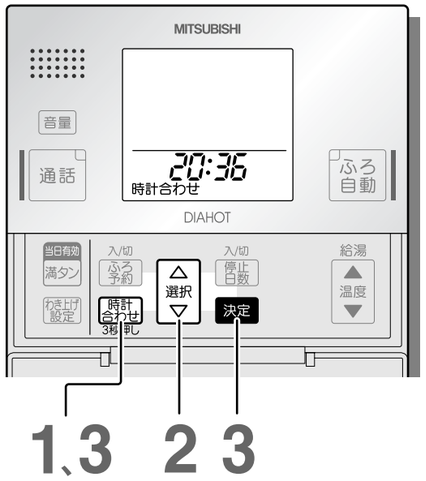
ポイント

- 途中で取り消しはできません。
- 呼出音量の調節はできません。

時刻を合わせる

リモコンの時刻を正確な時刻に合わせてください。
台所リモコンで設定します。

台所リモコン（インターホンタイプで説明しています。）



1 時計合わせ を3秒以上押す

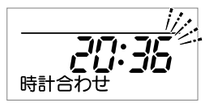
▶「時計合わせ」が表示されます。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

例）午後8時35分

- 各スイッチ操作は約60秒以内に行なってください。
- 時刻は24時間表示です。昼の12時の場合は「12:00」を、夜の12時の場合は「0:00」を表示します。
- [ ]:点灯、[ ]:点滅

2 選択スイッチを押して時刻を合わせる

▶ を押すと1分間進みます。
を押すと1分間戻ります。
（押し続けると、連続してかわります。）

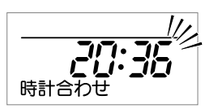


例）午後8時36分

- 表示部の時刻が点滅中に行なってください。

3 決定 または 時計合わせ を押す

▶設定完了です。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）



- 浴室リモコンには、自動的に設定した時刻が表示されます。

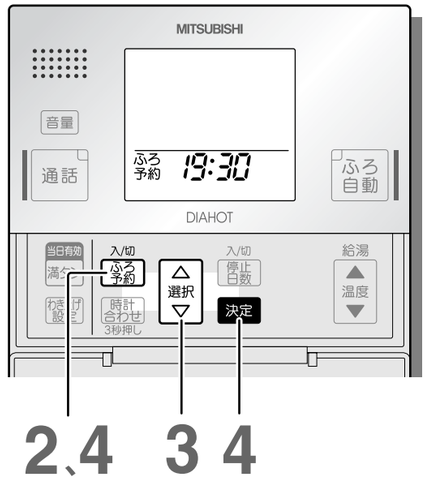
ポイント

- 時計の時刻は停電などにより若干変動します。
- 表示部に「00:00」が点滅している場合は、わき上げできませんので、上記手順2からの操作を行なって時刻を合わせてください。
- サブリモコンをご使用の場合、サブリモコンでは時刻を設定できません。台所リモコンで設定した時刻がサブリモコンに表示されます。

予約した時間におふろにお湯を入れる

台所リモコンで予約します。

台所リモコン（インターホンタイプで説明しています。）



ポイント

- 予約時刻の1時間以上前（湯はり時間を考慮）に設定を行なってください。1時間以内に設定した場合は、予約時刻に湯はりが完了しない場合があります。
- 浴槽に残り湯がある状態でふろ予約をすると、予約時刻に湯はりが完了しません。残り湯を排水してから設定してください。
- 水源水圧の変動などにより、湯はり完了時間が設定した時間よりずれることがあります。
- 浴室リモコンでは設定できません。
- 湯はり中に、台所やシャワーなどでお湯を使用すると、予約した時刻に湯はりが完了しない場合があります。
- 現在時刻が合っていないと、予約時刻に湯はりは完了しません。
- 湯はりが完了すると自動的に解除されますので、使用するごとに予約をしてください。
- 「ふろ予約」中に停電があると、設定した時間に湯はりが完了しない場合や、予約が解除される場合があります。

1 浴槽を確認する

①残った水を排水して、おふろの栓を閉じる
②浴槽にふたをする

- 浴槽に残水があると、水位や温度、時刻がばらつくことがあります。必ず、浴槽を確認してください。
- [ ]:点灯、[ ]:点滅

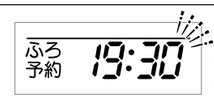
2 入/切 ふろ予約 を押す

▶「ふろ予約」が表示されます。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

- 時刻は24時間表示です。
- 工場出荷時 は、18:00に設定されています。
- 各スイッチ操作は約60秒以内に行なってください。

3 時刻が点滅中に選択スイッチを押して予約時刻を設定する

▶ を押すと10分間進みます。
を押すと10分間戻ります。
（押し続けると、連続してかわります。）

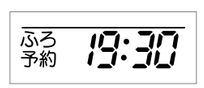


例）午後7時30分

- ふろ自動予約時刻の設定は10分刻みです。

4 入/切 決定 または ふろ予約 を押す

▶設定完了です。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）



- 解除するときは、もう一度、ふろ予約スイッチを押します。「ふろ予約」表示が消え、現在時刻表示になります。

5 予約した時刻になると湯はりが完了し、表示が現在時刻に変わります。

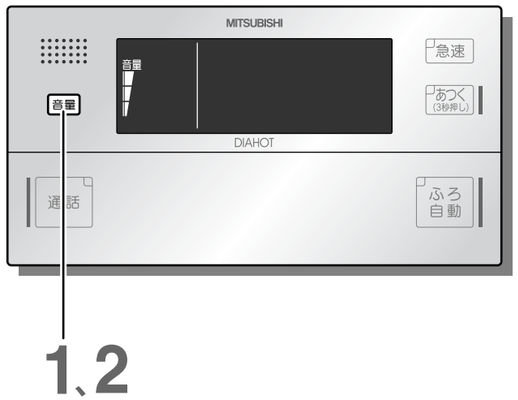
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

インターホンタイプ

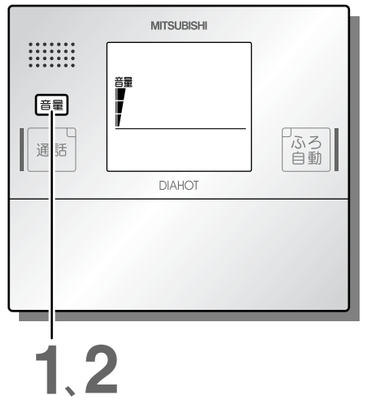
音声ガイダンスの音量を調節する

台所、浴室リモコンの音声ガイダンス（操作を音声でガイドする機能）の音量を変えたり、切ることができます。音量は、台所リモコンと浴室リモコンでそれぞれ別々に調節できます。

浴室リモコン



台所リモコン



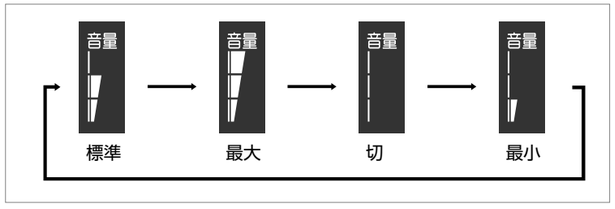
1 音量 を押す

▶現在設定されている声の大きさをお知らせします。
（音声ガイダンス）

- 通話をしていないときに行なってください。通話中に音量スイッチを押すと、通話音量の変更となります。
- 工場出荷時は「標準」に設定されています。

2 音量確認（手順1）後、10秒以内に 音量 を押す

▶押すごとに、声の大きさをお知らせします。



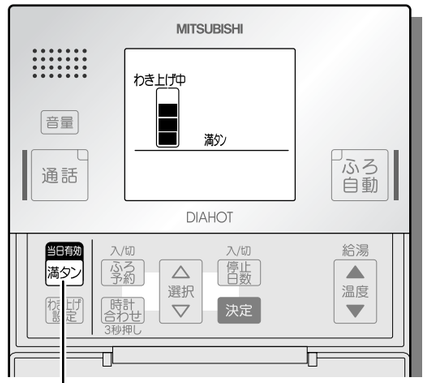
- 切（「音声を切ります」）にしても、音量調節を知らせる音声やスイッチ操作音、警告音は消せません。

たくさんお湯を使う（満タンわき増し）

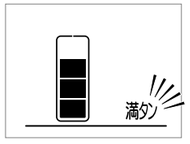
お湯がたりなくならないように、減ってきたらそのつどヒーターに通電し、お湯をわき上げる機能です。来客などでたくさんのお湯が必要なときに設定してください。

「時間帯別電灯」でご契約のお客さまがご利用できる機能です。深夜電力でご契約のお客さまは、ご利用できません。

台所リモコン（インターホンタイプで説明しています。）



1 当日有効 満タン を押す



▶「満タン」が表示されます。
▶設定完了です。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

- 解除するときは、もう一度、満タンスイッチを押します。（満タン表示が消えます。）
- [ ]:点灯

2 お湯が約100L減るとわき増しを開始します。

▶わき増し中は、「わき上げ中」が表示されます。

ポイント

- 満タンわき増しは、一度設定すると、設定したその日は解除されるまで何回でもタンク全体のわき増しを行います。夜間時間帯[注]になると自動的に解除されます。

  注.夜間時間帯は地域や電力契約の内容によって異なります。
- 夜間時間帯[注]は、お湯が減ってもわき増しを行いません。
- 満タンわき増しは、昼間電力でタンク内をわき上げますので電気料金は割高になります。
- わき上げモードで上部わき増しが設定されている場合でも、満タンわき増しを設定できます。

わき上げモードを設定する

温水器のわき上げ動作を決めるためのモードです。
お湯がたりなくなるのを防ぐため、使い始めは、「多め＋上部わき増し」に設定することをおすすめします。
来客などでさらにたくさんのお湯が必要なときは、満タンわき増しをご利用ください。

わき上げ温度の目安、動作内容

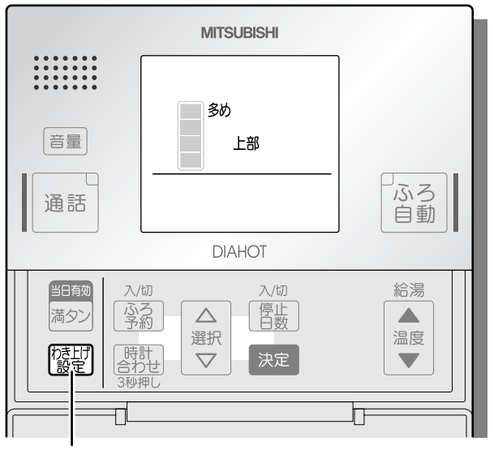
モード	画面表示	わき上げ温度（目安）	わき上げ動作内容
多め ＋ 上部わき増し	多め 上部	約90℃	●最高のわき上げ温度でわき上げを行います。 来客などでお湯をたくさん使用することが予測されるときは、前日に設定しておくことをおすすめします。 ●お湯が減ってきたら上部ヒーターに通電し、150Lのお湯を確保します。（上部わき増し）
おまかせ ＋ 上部わき増し	おまかせ 上部	〈冬期〉 約80～90℃ 〈春～秋〉 約75～90℃	●過去の使用湯量と現在の給水水温から翌日の使用湯量を予測して、約75℃～約90℃の範囲でわき上げ温度を決定し、ムダなく効率的にわき上げます。 ●お湯が減ってきたら上部ヒーターに通電し、150Lのお湯を確保します。（上部わき増し）
少なめ ＋ 上部わき増し	上部 少なめ	約75℃	●最小限のわき上げを行います。 使用量が多いとお湯が不足しますので「多め」または「おまかせ」に設定してください。 ●お湯が減ってきたら上部ヒーターに通電し、150Lのお湯を確保します。（上部わき増し）
多め	多め	約90℃	●最高のわき上げ温度でわき上げを行います。 来客などでお湯をたくさん使用することが予測されるときは、前日に設定しておくことをおすすめします。
おまかせ	おまかせ	〈冬期〉 約80～90℃ 〈春～秋〉 約75～90℃	●過去の使用湯量と現在の給水水温から翌日の使用湯量を予測して、約75℃～約90℃の範囲でわき上げ温度を決定し、ムダなく効率的にわき上げます。
少なめ	少なめ	約75℃	●最小限のわき上げを行います。 使用量が多いとお湯が不足しますので「多め」または「おまかせ」に設定してください。

注1.わき上げ温度は最高90℃ですが、放熱によって、タンク内の温度はわき上げ温度から下がります。
注2.「少なめ」設定時は、追いだき・自動保温・給湯温度設定等の各機能に制限が発生することがあります。
※上部わき増しの通電開始条件
①タンクのお湯が75L以下に減ったとき（混合層と呼ばれるタンク内の湯と水の境界部の影響で早めに通電を開始します。）
②わき上げ温度より約10℃下がった場合（お湯を全く使用しなくても、放熱によるタンク内温度の低下により通電を開始する場合があります。）

ポイント
- **上部わき増しは、「時間帯別電灯」でご契約のお客さまがご利用できる機能です。深夜電力でご契約のお客さまは、ご利用できません。**
- 工場出荷時は電力契約に関わらず自動的に上部わき増しが設定され[注]、解除するまで継続します。

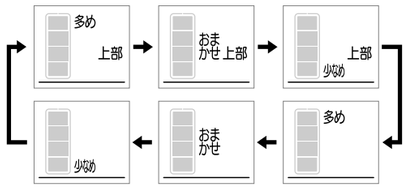
注.電力契約モードが「08」～「10」（ドリーム8、ドリーム8エコ）のときは、「上部わき増し」の自動設定は行われません。
深夜電力契約の場合は、約24時間（通電状態によりかわります。）経過すると、自動的に解除されます。

台所リモコン（インターホンタイプで説明しています。）

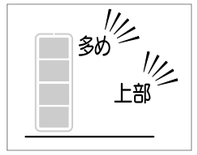


1 わき上げ設定 を押す

▶押すごとに、わき上げモードが移動します。

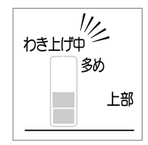


▶設定完了です。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）



- 工場出荷時は、「多め＋上部わき増し」に設定されています。
- [ ]:点灯

ポイント
- 上部わき増しが設定されているときにわき上げモードの設定を変更すると、お湯の使用量が少なくても昼間にわき上げを行うことがあります。
- 上部わき増し設定時は、お湯が減ると、わき増しを開始します。わき増し中は、表示部に「わき上げ中」が表示されます。（右図）



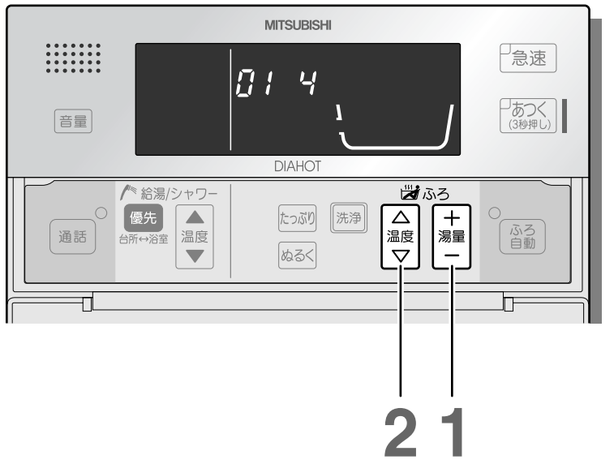
わき増し中の表示

スマート機能〈機能番号:01〉

ふろ自動運転の継続時間を変更する

ふろ自動継続時間を「0～8」時間の間で変更することができます。
自動保温、自動たし湯を行なわないようにするときは、「0」時間を設定してください。

浴室リモコン（インターホンタイプで説明しています。）



1 湯量 ー を3秒以上押す

▶機能番号（01）と現在の設定時間が表示されます。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

例）4時間

- 各スイッチ操作は約60秒以内に行なってください。
- 工場出荷時は「4時間」に設定されています。
- [ ]:点灯、[ ]:点滅

2 ふろ温度スイッチを押して継続時間を変更する

▶△を押すと1時間長くなります。
▽を押すと1時間短くなります。

▶設定完了です。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

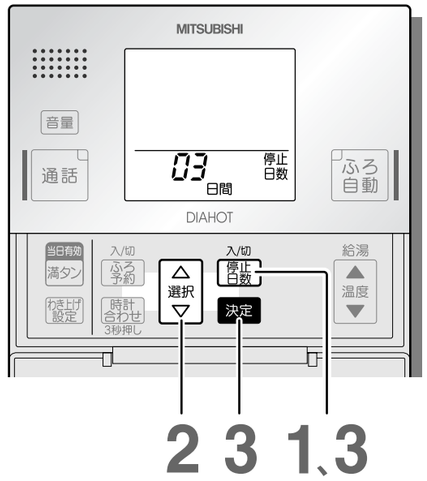
例）2時間

- 通常表示（時刻表示）へ戻すときは、スイッチを押します。
  スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。

数日間わき上げを停止するとき

旅行などで数日間お湯を使用しないときに、指定した日数のあいだ温水器のわき上げを停止させ、電気代を節約することができます。

台所リモコン（インターホンタイプで説明しています。）



わき上げ停止日数の決めかた

例）10月1日に出発し、10月4日に帰宅する
3泊4日の旅行の場合

- 出発日（1日）に設定する場合は、停止日数「03」を設定します。
  1日、2日、3日の昼間の使用を止めるので「03」を設定します。
  帰宅日には、朝からお湯が使用できます。

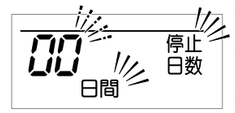
日付	10月1日	10月2日	10月3日	10月4日
昼間のお湯の使用	使用しない（停止）	使用しない（停止）	使用しない（停止）	使用する

- 出発日の前日に設定する場合は、停止日数「04」を設定します。
  帰宅日には、朝からお湯が使用できますが、出発日にはお湯を使用できません。

〈予定日より早く帰宅した場合〉
まずは停止日数を解除してください。翌朝からお湯が使用できるようになります。その日にお湯を使用するときは、満タンわき増しを使用してください。

1 入/切 停止日数 を押す

▶メニューに「停止日数」が表示されます。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）



- 各スイッチ操作は約60秒以内に行なってください。
- [ ]:点灯、[ ]:点滅

2 選択スイッチを押して停止日数を合わせる

▶△を押すと日数が進みます。
▽を押すと日数が戻ります。
（押し続けると、連続してかわります。）

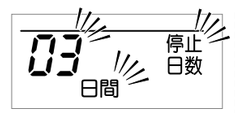
- 設定範囲は、「2～15日」、「長期停止」です。

表示	停止日数
長期停止	長期停止
15日間	15日
⌇	
02日間	2日
00日間	解除

- 長期停止を設定した場合、解除するまでわき上げを行いません。
- 解除するときは、もう一度、停止日数スイッチを押します。

3 決定 または 入/切 停止日数 を押す

▶設定完了です。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）



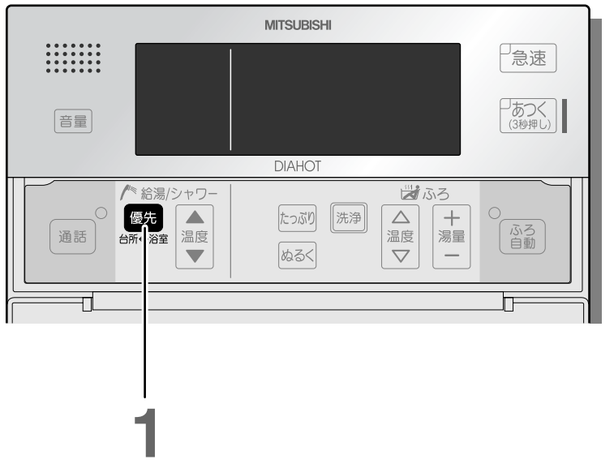
ポイント

- 停止期間中に、ふろ自動予約、満タンわき増し、現在時刻の設定を行うと自動解除されます。
- **長期間（1カ月以上）使用しないときは、P40 の手順に従って温水器の水抜きをしてください。**
- わき上げ停止設定中でも、凍結防止のため、わき上げを行うことがあります。
- 長時間停電すると、停電復帰後に停止日数が解除されます。

自動消灯モード

浴室リモコン画面のバックライトを、節電のため消灯させることができます。（自動消灯モード）
自動消灯モード設定時は温水器を使用しないまま約10分間経過後、バックライトが消灯します。

浴室リモコン（インターホンタイプで説明しています。）



1 優先 を3秒以上押す

▶浴室リモコンのバックライトが消灯し、自動消灯モードになります。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

- 常時点灯モードに戻すときは、優先スイッチを3秒以上押します。

ポイント

- 自動消灯モード中でも、以下の場合はバックライトが点灯します。

●お湯を使用したとき	●ふろ機能使用中	●音声ガイダンスが流れたとき	●いずれかのスイッチ操作をしたとき	●インターホン動作中

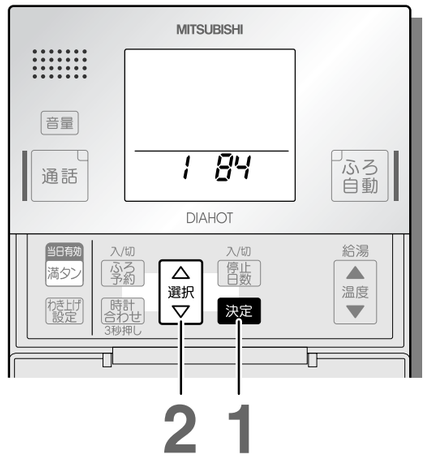
- 台所リモコンは約1分間以上、スイッチ操作がない状態が続くと、自動的にバックライトが消灯します。（バックライト自動消灯機能）
- 台所リモコンは常時点灯できません。

スマート機能〈機能番号:1・2〉

タンク内温度、わき上げ状態を表示する

現在のタンク内温度を表示させることができます。
また、お湯の量がたりなくなったときや、設定したわき上げ温度までわき上げできなかったときは、わき上げ状態を表示させ、原因を確認することができます。

台所リモコン（インターホンタイプで説明しています。）



1 決定 を3秒以上押す

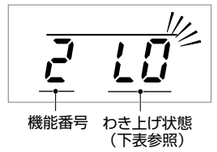
▶機能番号（1）とタンク内の温度が表示されます。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

例）84℃

- [ ]:点灯、[ ]:点滅
- 通常表示（時刻表示）へ戻すときは、決定スイッチを押します。
  決定スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。

2 選択スイッチ「△」を押す

▶機能番号（2）わき上げ状態が表示されます。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）



- 通常表示（時刻表示）へ戻すときは、決定スイッチを押します。
  決定スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。

表示	わき上げ状態	お湯がたりなくなった原因
LO	●わき上げは完了しています。（据付工事直後や2時間以上の停電後、最初にわき上げが完了するまでは「LO」が表示されます。）	●昼間時間帯にたくさんのお湯を使用したため、湯量不足になりました。
L1	●給水水温が低かったため、設定したわき上げ温度までわき上がっていません。	●わき上げ温度が低いため、使用できる湯量が少なくなり、お湯がたりなくなりました。
L2	●夜間時間帯にお湯を使用したため、設定したわき上げ温度までわき上がっていません。	
L3	●夜間時間帯にお湯を使用したため、または夜間時間帯に2時間以上停電したため、設定したわき上げ温度までわき上がっていません。	

時間帯別電灯でご契約のお客さまは、お湯がたりなくなった場合は、満タンわき増し（P25）を利用してください。

ポイント

- タンク内の湯温は、放熱によって時間の経過とともに少しずつ低下しますので、わき上げ温度よりも低く表示されることがあります。（通常、温度の低下は、1時間に約1℃ですが、外気温度によってはそれ以上低下することがあります。）
- わき上げ中やお湯を使用したとき（給湯、追いだき、自動保温など）は、タンク内の湯温表示が変動することがあります。

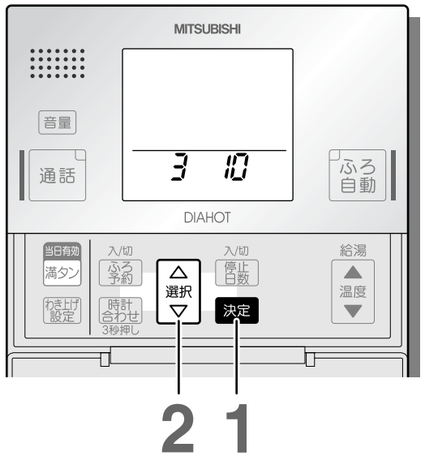
〈スマート機能〈機能番号:3・4・5・6〉〉

電力使用量、お湯の使用量を表示する

電力使用量や、昨日の給湯使用量※、昨日の追いだき・保温使用量※を表示させることができます。

※お湯の使用量（エネルギー）を43℃の給湯量で表示し、毎朝、夜間時間帯終了後に更新を行います。追いだきや保温はタンク内のお湯の熱を利用するため、実際に蛇口等でお湯を使っていなくても、使用量は多くなります。

台所リモコン（インターホンタイプで説明しています。）



1 決定 を3秒以上押す

▶機能番号（1）とタンク内の温度が表示されます。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

例）84℃

- [ ]:点灯、[ ]:点滅
- 通常表示（時刻表示）へ戻すときは、決定スイッチを押します。
  決定スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。

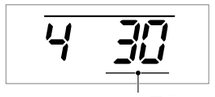
2 選択スイッチ[△]を押して機能番号を送る

▶押した回数に応じて、機能番号と電力使用量または給湯使用量が表示されます。

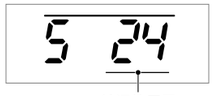
▶[△]を押すと機能番号が進みます。
[▽]を押すと機能番号が戻ります。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

例）電力使用量（昼間時間帯）
10kWh

例）電力使用量（夜間時間帯）
30kWh

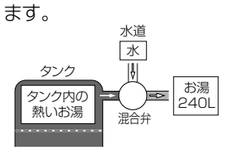


例）昨日の給湯使用量
240L



例）昨日の追いだき・保温使用量
160L

- 電力使用量では、表示された数字が使用量(kWh)の目安です。
- お湯の使用量では、表示された数字に10をかけた数値が使用量(L)の目安です。
  表示されるお湯の使用量は、タンク内のお湯の使用量と異なります。例えば、昨日の給湯使用量表示が「24（240L）」の場合、タンク内の熱いお湯と水を混ぜて240L使用したことを表しています。



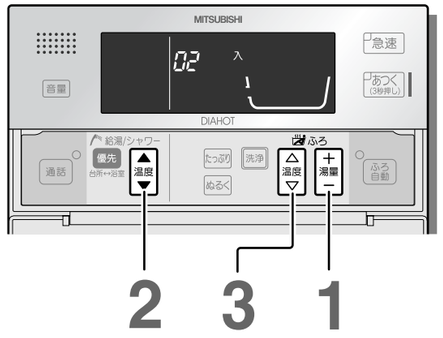
- 通常表示（時刻表示）へ戻すときは、決定スイッチを押します。
  決定スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。

〈スマート機能〈機能番号:02〉〉

凍結予防運転を入/切する

ふろ配管の「凍結予防運転」は以下のように入／切できます。通常は「入」でご使用ください。P38

浴室リモコン（インターホンタイプで説明しています。）



1 湯量[−]を3秒以上押す

▶機能番号（01）と現在の設定時間が表示されます。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

2 給湯温度スイッチ[▲]を押す

▶機能番号（02）と現在の設定が表示されます。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

▶[▲]を押すと機能番号が進みます。
[▼]を押すと機能番号が戻ります。

3 ふろ温度スイッチを押してモードを決める

▶[△]を押すと入になります。
[▽]を押すと切になります。

▶設定完了です。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

●設定できる範囲

入:凍結予防運転あり 切:凍結予防運転なし
工場出荷時は「入」

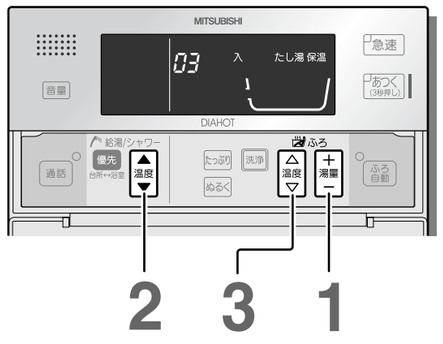
- 通常表示（時刻表示）へ戻すときは、[−]スイッチを押します。
  [−]スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。

〈スマート機能〈機能番号:03〉〉

自動たし湯を入/切する

「自動たし湯」は以下のように入／切できます。

浴室リモコン（インターホンタイプで説明しています。）



1 湯量[−]を3秒以上押す

▶機能番号（01）と現在の設定時間が表示されます。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

2 給湯温度スイッチ[▲]を2回押す

▶機能番号（03）と現在の設定が表示されます。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

▶[▲]を押すと機能番号が進みます。
[▼]を押すと機能番号が戻ります。

3 ふろ温度スイッチを押してモードを決める

▶[△]を押すと入になります。
[▽]を押すと切になります。

▶設定完了です。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

●設定できる範囲

入:自動たし湯あり （画面には、たし湯と保温を表示） 切:自動たし湯なし （画面には、保温のみ表示）
工場出荷時は「入」

- 通常表示（時刻表示）へ戻すときは、[−]スイッチを押します。
  [−]スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。

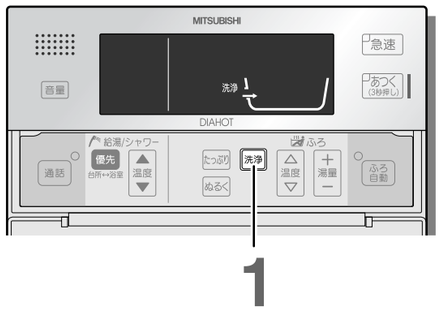
洗浄

洗浄には配管にたまった水を押し出す「注水洗浄」と、洗浄剤を使って配管内をきれいにする「循環洗浄」があります。

注水洗浄

おふろの排水時に、毎回行うことをおすすめします。

浴室リモコン（インターホンタイプで説明しています。）



1 洗浄 **を押す**

● [ ]:点灯、[ ]:点滅

▶浴槽アダプターから約8Lの水が出ます。（自動で停止）

（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

循環洗浄

1年に2～3回、または汚れが目立つ場合に行なってください。

1.洗浄

①入浴後、ふろ自動運転を「切」にし、お湯を排水せずに浴槽のお湯を残しておく（お湯の目安は浴槽アダプターの中心から約10cm以上です。）

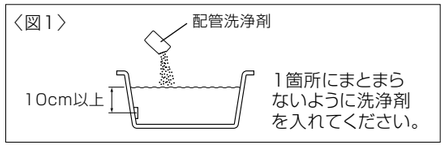
②配管洗浄剤を1袋入れる〈図1〉

③洗浄スイッチを3秒以上押す〈図2〉

- 自動でふろ配管を洗浄します。
  洗浄中は、浴室リモコンに「循環洗浄」表示が出ます。
- 洗浄時間の目安は、約1時間です。洗浄スイッチを押して、洗浄を停止させてください。（洗浄スイッチを押さなくても、約6時間で自動停止します。）
  浴槽アダプターから水が約8L出ます。（自動で停止）
- 汚れの落ち具合により、洗浄時間を調節してください。

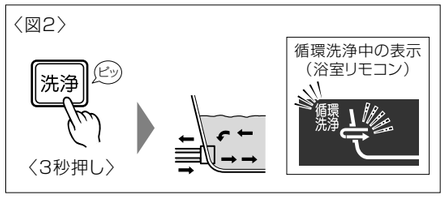
④洗浄が終わったら、浴槽のお湯を排水する

〈図1〉



1箇所にまとまらないように洗浄剤を入れてください。

〈図2〉



2.すすぎ

①おふろの栓を閉じる〈図3〉

②浴槽アダプターがかくれるくらいまで、蛇口（シャワー）から水を入れる

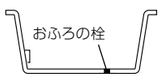
③洗浄スイッチを3秒以上押す〈図4〉

- すすぎが始まります。すすぎ時間の目安は、約30分です。洗浄スイッチを押して洗浄を停止させてください。（洗浄スイッチを押さなくても、約6時間で自動停止します。）
  浴槽アダプターから水が約8L出ます。（自動で停止）

④すすぎが終わったら、浴槽の水を排水する

⑤浴槽の掃除を行う

〈図3〉



おふろの栓を閉じる

〈図4〉

ポイント

- 洗浄剤は、別売の配管洗浄剤（BJ-070K）をご使用ください。市販の洗浄剤を使用する場合は「ジョンソン株式会社製ジャバ（1つ穴用）」に限ります。（ジャバを使用する場合も循環洗浄の手順は上記の通りに行なってください。安全に関するご注意などは、ジャバに付属の説明書をお読みください。）
- 循環洗浄を行なっても汚れが落ちない場合は、もう一度循環洗浄を行なってください。

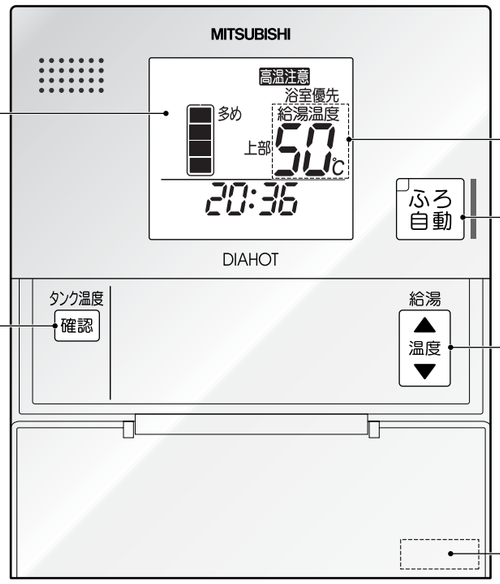
サブリモコンをご使用の場合

サブリモコン（オプション）

※インターホン機能、呼び出し機能はありません。

ふたを開けた状態です。

形名（アールエムシー ケーゼット）:RMC-KZ4



バックライト付き

※約1分間以上、スイッチ操作がない状態が続くと、自動的にバックライトが消灯します。（バックライト自動消灯機能）

給湯温度表示

おふろにお湯をはれます。 P12

タンク内の温度を表示できます。

例）84℃

給湯温度表示部に表示されます。約10秒間表示後、給湯温度表示に戻ります。

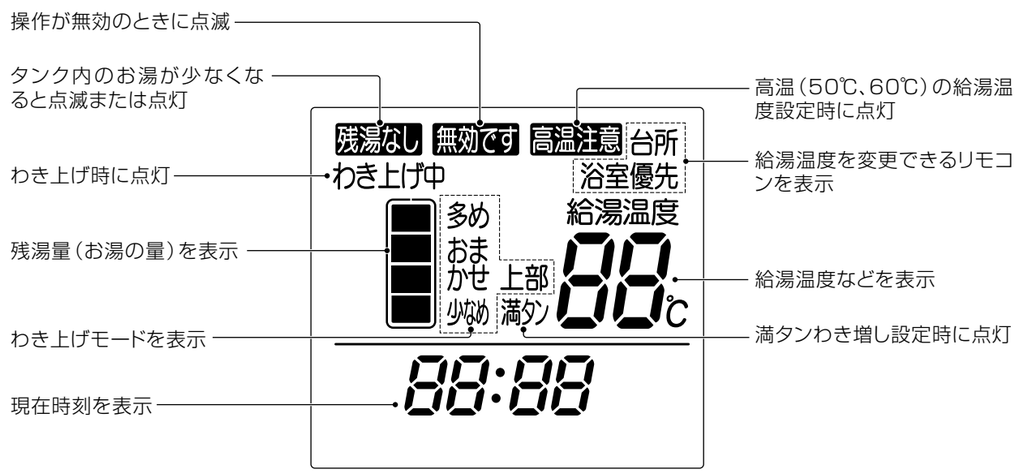
蛇口やシャワーに行くお湯の温度を設定できます。 P16

※優先権が浴室リモコンにある場合は、浴室リモコンの優先スイッチを押してから設定してください。

リモコン形名表示

表示部

（説明のため、画面はすべての表示が点灯した状態にしてあります。）



お手入れと点検

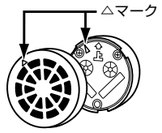
日常のお手入れ

❑浴槽アダプターのお手入れ

浴槽のお湯を排水した後に行います。お手入れは、こまめに行なってください。
追いだき等の動作が正常に行えない場合があります。

①浴槽アダプターフィルターを外し、全体を水洗いする
歯ブラシなどを使用すると、細部の汚れがおちます。

②浴槽アダプターフィルターの上下を確認し、元どおりに取付ける
△マークを合わせてはめ込み、右に「カチッ」と音がするまで回してください。
取付けがゆるいと、運転中に外れ、けがや故障の原因になります。



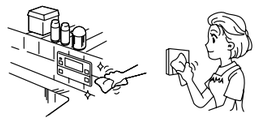
ポイント
- 浴槽アダプターの角部や突起で手、指などにけがをしないようにしてください。
- 浴槽アダプターフィルターの上下を確認して取り付けてください。

❑時刻の確認

時刻がずれていると電気料金が高くなってしまいますので、1カ月に1回程度確認を行なってください。
ずれている場合は、台所リモコンで時刻を合わせ直してください。（P22）

❑リモコンのお手入れ

表面が汚れたときは、乾いた布や固くしぼった布で拭いてください。

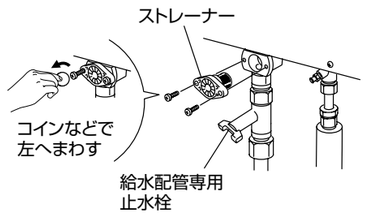


ポイント
- ベンジンやシンナー、アルコールなどの化学薬品は使用しないでください。
変形や変色の原因になります。
- 浴室リモコンに入浴剤を使用したお湯がかかった場合、乾いた布や固くしぼった布で拭いてください。
時間がたつと落ちにくくなり、入浴剤の色素が付着して色が付くこともあります。

❑ストレーナーのお手入れ

お湯が出ない場合は、ストレーナーのゴミを取り除いてください。

①脚部カバーを外す（P40）
②給水配管専用止水栓を閉じる
③逃し弁操作窓を開けて、逃し弁のレバーを手前に起こす
④ストレーナーを外し、歯ブラシなどでゴミを取り除く
⑤掃除が終わったら、ストレーナーを取り付け、逃し弁の
レバーを戻し、給水配管専用止水栓を開く



1年に2～3回程度のお手入れと点検

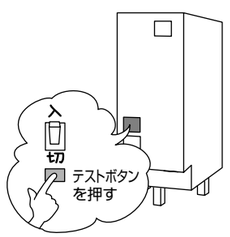
❑漏電遮断器の動作点検（2カ所）

漏電遮断器の点検は、電源供給中に行なってください。

①操作カバーを開け、テストボタンを押す
電源レバーが「入」→「切」になれば正常です。

②必ず電源レバーを上げ、「入」に戻す

⚠警告	漏電遮断器の動作を確認する（感電の原因）



ポイント
- 電源レバーが「切」にならない場合は、据付工事店（販売店）へご連絡ください。

❑逃し弁の点検

動作点検と水漏れ点検を行います。

〈動作点検〉　逃し弁操作窓を開けて逃し弁のレバーを手前に起こし、排水口から水（お湯）が出ることを確認します。水（お湯）が出れば正常です。

〈水漏れ点検〉わき上げをしていないとき（台所リモコンに「わき上げ中」が表示されていないとき）、排水口から水（お湯）が出ていないかを確認します。水（お湯）が出ていなければ正常です。水（お湯）が出ている場合は、逃し弁のレバーを数回動かしてください。

⚠警告	点検時は、配管に手を触れない（やけどの原因）

⚠注意	逃し弁の点検をする タンクや配管が破損してやけどの原因になります。

ポイント
- 逃し弁は高い位置に付いていますので、踏み台などを使用して、点検を行なってください。（点検時は、転倒しないよう注意してください。）
- 動作点検、水漏れ点検を行って正常ではない場合は、給水配管専用止水栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店（販売店）へご連絡ください。

❑配管の点検

配管の保温材破損や水漏れがないか点検します。水漏れが生じている場合は、据付工事店（販売店）にご連絡ください。特に冬期に入る前には、必ず保温材のチェックを行なってください。破損している場合、配管が凍結し、本体や配管が破損することがあります。

⚠注意	配管を点検をする マンションなど、中・高層住宅では水漏れが起きた場合、下層階に被害を及ぼすことがあります。

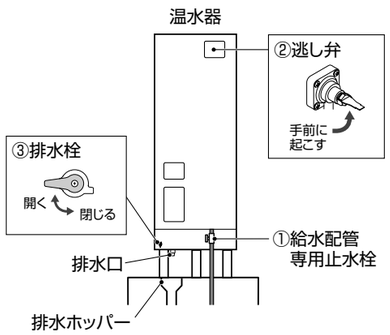
ポイント
- 本体や周辺配管などから水漏れが生じた場合は、給水配管専用止水栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店（販売店）へご連絡ください。

❑洗浄剤を使ってふろ配管をきれいにする（循環洗浄）

浴槽内の汚れが目立つ場合は、洗浄剤を使って循環洗浄を行なってください。（P34）

❑タンクのお手入れ

①脚部カバーを外す（P40）
②給水配管専用止水栓を閉じる
③逃し弁操作窓を開けて、逃し弁のレバーを手前に起こす
④排水栓を約1～2分間開く
タンクの下部にたまった汚れを排水します。
排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を
調整してください。
⑤1～2分たったら、排水栓を閉じる
⑥給水配管専用止水栓を開く
⑦排水口から勢いよく水が出たら、逃し弁のレバーを戻す



⚠警告	排水時はお湯に手を触れない（やけどの原因）

ポイント
- **給水配管専用止水栓の取付位置が不明な場合は、据付工事店へご連絡ください。**
- わき上げ中（台所リモコンに「わき上げ中」が表示されているとき）は行わないでください。
- タンクのお手入れを行うときは、同時に排水管（溝）のゴミつまりなども点検してください。ゴミなどで排水が流れにくい場合は、水漏れ事故防止のため据付工事店（販売店）へご連絡ください。（有償）

わき上げ中の表示

凍結防止

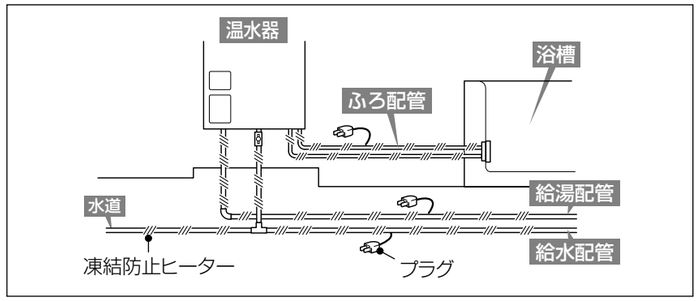
据付工事店（販売店）へ相談し適切な凍結防止対策をしてください。
寒い季節になったら、凍結防止処置（凍結防止ヒーターのプラグを入れる、凍結予防運転を設定する）が行われているか、必ず確認してください。各配管に保温工事がしてあっても、冬期は本体周囲温度が0℃以下になると配管が凍結し、温水器や配管が破損したり、リモコンにエラーが表示されたりすることがあります。（寒冷地だけでなく暖かい地域でも凍結することがあります。）

⚠注意

- 凍結防止処置の確認をする
  凍結するとタンクや配管が破損し、やけどや水漏れをすることがあります。

❑凍結防止ヒーターを使う

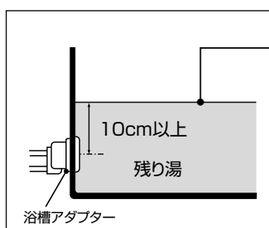
凍結防止ヒーターが図のように設置されているか確認します。使用するときは、すべてのプラグをコンセントに差し込みます。凍結しない季節はコンセントからプラグを抜いておきます。



ポイント
- 配管が凍結した場合は、給水配管専用止水栓を閉じて据付工事店（販売店）へご連絡ください。

❑凍結予防運転（浴槽の残り湯循環）

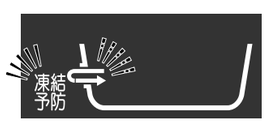
入浴後、排水せずにおふろのお湯を残しておくと自動で残り湯を断続的に循環して凍結予防を行います。凍結するおそれのある場合は、必ず、凍結防止ヒーターでの凍結防止も行なってください。



1 入浴後、排水せず浴槽の湯を残しておく
お湯の目安は浴槽アダプターの中心から約10cm以上です。

2 本体内の温度センサーが約5℃以下を検知すると凍結予防のため、ふろ配管に残り湯を循環させます。
（保温運転はしません。）

運転中の表示（浴室リモコン）



[ ]:点灯、[ ]:点滅

ポイント
- 凍結予防運転はふろ自動運転が「切」のときに作動します。
- 外部の配管を含めて循環させているため、動作中は冷たい水が出ることがあります。
- 浴槽に水がない状態でも凍結予防運転は動作するため、最初の1回は動作音がしたり、浴槽アダプターから水が出たりします。
- 「残り湯循環」を行なった次の日は、残り湯を排水してから、湯はりを行なってください。
- 凍結予防運転を行なわないように設定することができます。（P33）
  ただし、凍結するおそれがありますのでご注意ください。

停電・断水時（水が濁る）など

停電・断水時は主に以下のことができます。

	給湯	ふろ機能	わき上げ
停電時	○（注）	×	×
断水時	×	×	○

（注）詳細は、下記 ポイント の「●停電中の給湯」を参照ください。

❑停電したとき

この温水器はメモリ機能がついていますのでお客さまが設定した「時刻」や「わき上げ温度」などは記憶されています。**ただし、時刻がずれることがありますので、必ず時刻を合わせ直してください。**

- 停電終了後、リモコンの設定は、停電前の設定に戻ります。
- わき上げ中に停電した場合は、停電終了後にわき上げを行います。

ポイント
- 正確な時刻に合わせていないと、電気料金が割高になる場合があります。
- 湯はり中の停電

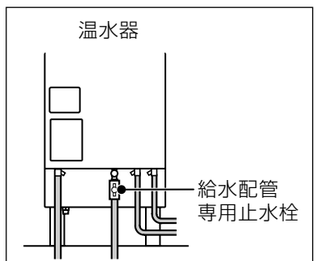
停電時間20分以内	自動的に湯はりを再開します。
停電時間20分を越えたとき	浴槽の湯を全部抜いてから、再度、ふろ自動運転スイッチを押して湯はりを行なってください。

- 停電中の給湯
  - 停電時はタンクにお湯があれば給湯できますが、温度調節ができないため、設定温度と異なる温度のお湯が蛇口から出ることがあります。高温のお湯が出る場合もありますので、やけどに注意してください。
  - ふろ機能（湯はりなど）中に停電があると、設定温度と異なる低温のお湯が蛇口から出ることがあります。
  - 混合水栓のハンドルは湯側を全開にして使用しないでください。

⚠警告
停電時の給湯は、やけどに注意する

❑断水したとき（水が濁る）

①断水したときや近くで水道工事が行われるときは、給水配管専用止水栓を閉じてください。（閉じると温水器からのお湯が止まります。）閉じないでそのまま使用すると、濁った水で温水器のストレーナー部が目詰まりし、湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。
②断水時は蛇口の混合栓を水側にして、蛇口は開けないでください。
③断水が復旧したら、蛇口の水側を開き、水の汚れがなくなったのを確認してから、給水配管専用止水栓を開いて使用を再開してください。



※給水配管専用止水栓の取付位置が不明な場合は据付工事店へご連絡ください。

❑給湯をとめるとき

湯水混合栓のパッキンの交換などで、温水器からの給湯を止めるときは、水道の元栓と給水配管専用止水栓を閉じてください。

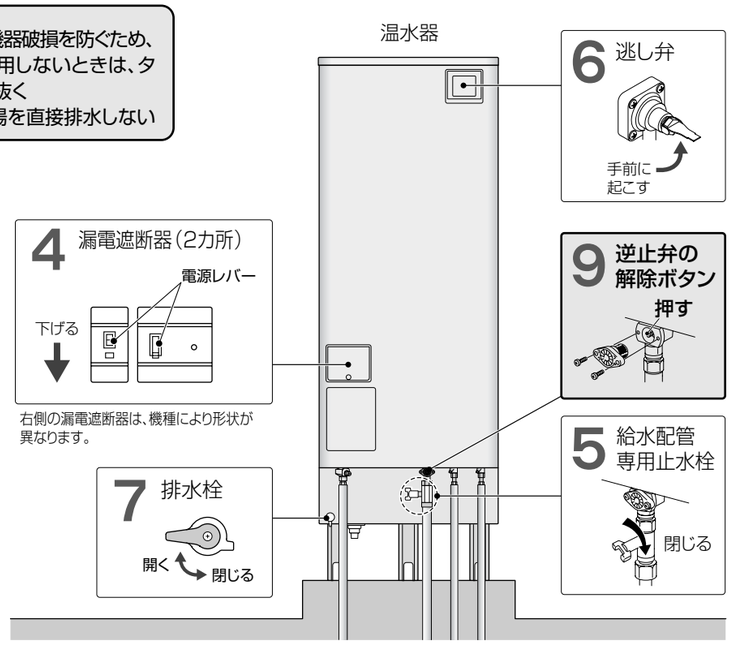
ポイント
- パッキン交換などの作業を行う場合、一度、蛇口を開き、お湯が出なくなったことを確認してから作業を行なってください。

温水器を使用しないとき

温水器を使用しないときは、運転を止めタンクの水を抜きます。
また、凍結による不具合防止のため、温水器の電源を切るときは、下記要領で水抜きを行なってください。

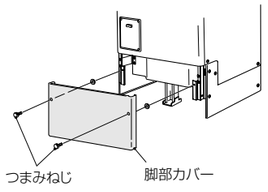
⚠警告
排水時は、やけどに注意する

⚠注意
- 凍結による機器破損を防ぐため、温水器を使用しないときは、タンクの水を抜く
- タンクの熱湯を直接排水しない

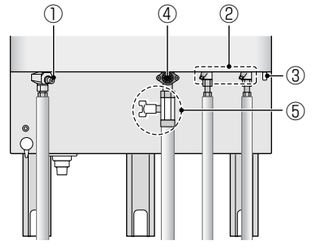


2 脚部カバーの外しかた

（1）つまみねじ（2本）を外す
（2）脚部カバーを手前に引く



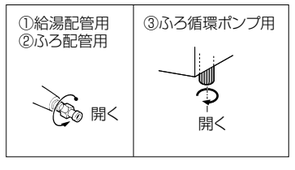
8 水抜き栓、ストレーナー、給水配管専用止水栓の取付位置



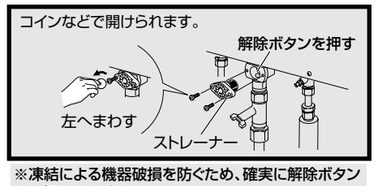
①	給湯配管用水抜き栓
②	ふろ配管用水抜き栓
③	ふろ循環ポンプ用水抜き栓
④	ストレーナー
⑤	給水配管専用止水栓

「⑤給水配管専用止水栓」が図の位置に取り付けられていない場合は、据付工事店へ取付位置を確認してください。

水抜き栓の開きかた



④ストレーナーの外しかた／逆止弁の解除方法



※凍結による機器破損を防ぐため、確実に解除ボタンを押してください。

1	**前日から準備できる（タンクのお湯を抜くことがわかっている）場合、わき上げ停止日数を「2日」に設定し、わき上げを停止する**	● あらかじめ前日に設定しておけば、ムダにお湯をわき上げることがなくなります。 ● わき上げ停止日数の設定方法: P29
2	**温水器に脚部カバーがついている場合は、脚部カバーの前面カバーを外す**	
3	**タンク内のお湯を水にするために、湯水混合栓（例えば台所など）を開き、熱いお湯が出なくなるまでお湯を出す**	● 熱いお湯が出なくなったら、湯水混合栓を閉じてください。
4	**漏電遮断器（2カ所）の電源レバーを下げ、「切」にする**	
5	**給水配管専用止水栓を閉じる** タンクへの給水を止めます。	
6	**逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを手前に起こす** タンクへ空気を取り入れます。	
7	**排水栓を開く** タンクの水（お湯）を抜きます。 水が抜けるまでに約1時間かかります。	● 排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調整してください。 ● 排水直後に逃し弁のレバーを戻さないでください。
8	**タンクの排水が終わったら、水抜きをする（図に示す水抜き栓を開く）** 配管の水（お湯）を抜きます。容器などで受けて排水します。	
9	**給水配管のストレーナーを外し、逆止弁の解除ボタンを押す** 配管の水（お湯）を抜きます。容器などで受けて排水します。	● **水が飛び散る場合がありますので、ご注意ください。**
10	**水抜き完了後、1時間程度放置してから、水抜き栓、排水栓を閉じ、ストレーナーを取り付ける**	
11	**手順2で外した脚部カバーの前面カバーを取り付ける**	

ポイント
- 排水直後に逃し弁のレバーを戻さないでください。タンクが負圧になり破損する原因となります。(逃し弁のレバーは再び使用するときまで戻さないでください。)
- 再び使用するときは、排水栓、水抜き栓、ストレーナーが閉じていることを確認してから、タンクに水を入れる（P42）を行なってください。

タンクに水を入れる(準備)

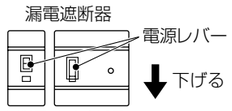
タンクの水抜きを行なった場合、下記の手順で温水器の使用を再開します。
またタンクの水抜きをせずに1カ月以上お湯を使用しなかった場合は、P40に従い、タンクの水抜きをしてから次の手順を行なってください。
必ず、手順通りに行なってください。わき上げできない場合やエラーが表示されることがあります。

※温水器を初めてご使用になる場合など、方法がわからないときは、据付工事店(販売店)へご相談ください。

製品形名に「D」の付くタイプは温水器を初期状態にしてから(右記手順)、以下の手順を行なってください。	(1)200V電源ブレーカーを「入」にする (2)左側(制御用)の漏電遮断器の電源レバーを「切」にし、約30秒間「入」にしたあと、再び「切」にする (3)200V電源ブレーカーを「切」にする

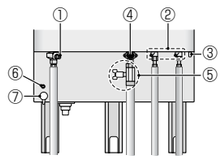
1.以下のことを確認する

(1)漏電遮断器(2カ所)が「切」になっていることを確認し、「入」になっている場合は、電源レバーを下げ、「切」にする



- 右側の漏電遮断器は、機種により形状が異なります。

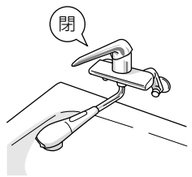
(2)温水器の排水栓、水抜き栓、ストレーナー、非常用取水栓が閉じていることを確認する(開いている場合はすべて閉じてください。)



①	給湯配管用水抜き栓
②	ふろ配管用水抜き栓
③	ふろ循環ポンプ用水抜き栓
④	ストレーナー
⑤	給水配管専用止水栓
⑥	非常用取水栓
⑦	排水栓

- 脚部カバーがついている場合は、脚部カバーの前面カバーを外してから行なってください。(P40)

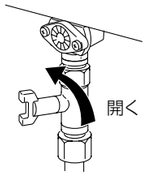
(3)すべての蛇口(湯水混合栓)が閉じていることを確認する



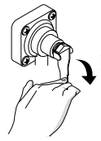
2.タンクを満水にする

(1)逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを手前に起こす

(2)給水配管専用止水栓を開き、タンクへ給水する



(3)満水になったら、逃し弁のレバーを戻す



- タンクが満水になると排水口から水がでます。
(満水までの目安:約30分)

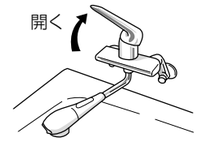
- タンクを満水にしてから電源を入れてください。
- タンクが満水になるまで蛇口(湯水混合栓)は開けないでください。流量センサーの故障の原因となります。
- 給水配管専用止水栓は閉じないでください。
- 給水中は排水口から少量の水が出ますが故障ではありません。

「F07」エラーはタンクが満水でないときに表示されます。

タンクが満水でないと電源を入れてもリモコンに「F07」表示が出て、わき上げを行いません。必ずタンクを満水にしてからご使用ください。(逃し弁のレバーを手前に起こして排水口から水が出ることを確認してから、逃し弁のレバーを戻してください。)
また、タンクが満水になるまでリモコンに「F07」エラーが表示されますが、故障ではありません。
満水になると「F07」エラーは自動解除されます。

3.給湯配管の空気を抜く

(1)蛇口(湯水混合栓)のお湯側を開く(1カ所)

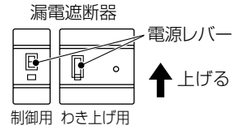


- 空気が抜け、蛇口から水が出たら閉じてください。

4.電源を入れる

(1)200V電源ブレーカーを「入」にする

(2)漏電遮断器の電源レバー(2カ所)を上げ、「入」にする



5.時刻を確認する(P22)

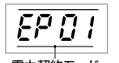
その他の設定(給湯温度、湯はり温度、湯はり湯量など)も工場出荷時状態に戻っていることがありますので確認してください。

ポイント ● 初めてご使用の場合は電力モードを確認し、合っていない場合は、ご契約の電力制度に合わせてください。

電力契約モードの確認手順

1 台所リモコンの 決定 を3秒以上押す

2 選択スイッチ[△]を6回押す



〈合っていない場合〉

3 給湯温度スイッチ[▲][▼]を押してモードを選ぶ
(設定完了)

※時刻表示へ戻すときは、決定スイッチを押してください。

■電力契約モードの内容(平成23年11月現在)

表示	適用電力制度	
EP 01	● 東京電力:電化上手 ● 沖縄電力:Eeらいふ	● 関西電力:はぴeタイム、はぴeプラン
EP 02	● 中部電力:Eライフプラン	
EP 03	● 中国電力:ファミリータイム	
EP 04	● 北海道電力:eタイム3 ● 九州電力:電化deナイト	● 北陸電力:エルフナイト10プラス
EP 05	● 東北電力:やりくりナイト8 ● 北陸電力:エルフナイト8 ● 関西電力:時間帯別電灯 ● 九州電力:時間帯別電灯[8時間型]	● 東京電力:おトクなナイト8 ● 中部電力:タイムプラン ● 四国電力:電化Deナイト、得トクナイト ● 沖縄電力:時間帯別電灯
EP 06	● 東北電力:やりくりナイト10 やりくりナイトS ● 九州電力:よかナイト10	● 東京電力:おトクなナイト10 ● 北陸電力:エルフナイト10
EP 07	● 中国電力:エコノミーナイト	
EP 08	● 北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ(A:夜間時間帯22時～6時)	
EP 09	● 北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ(B:夜間時間帯23時～7時)	
EP 10	● 北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ(C:夜間時間帯24時～8時)	

6.夜間時間帯(地域によって異なります。)にお湯をわき上げます。

わき上げ中は、リモコンに「わき上げ中」が表示されます。
時間帯別電灯でご契約の場合、初日と2日目は昼間時間帯でもわき上げることがあります。

7.お湯を使う

お湯は翌朝から使用できます。
やけど防止のため、湯水混合栓の温度調節つまみを「低」側にしてから給湯つまみを開き、適温に調整してお湯を使用します。

⚠警告

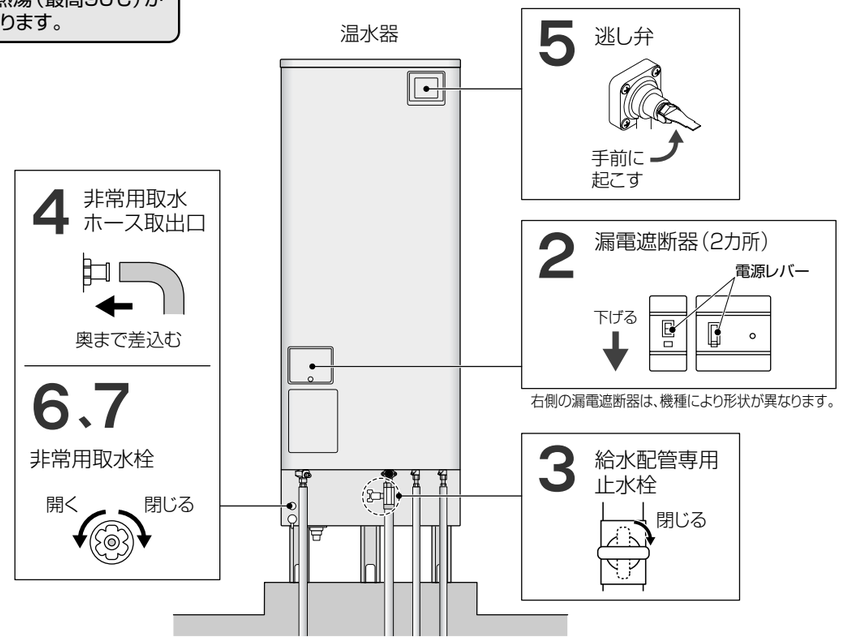
使いはじめは、やけどに注意する

特に朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散る場合があります。

災害時にタンクの水を取り出す

タンクの水（お湯）を生活用水として利用できます。
非常用取水ホースは取扱説明書に同梱されています。

⚠警告
取水時は、やけどに注意する
取水中、急に熱湯（最高90℃）が出る場合があります。



1 脚部カバーがついている場合は、脚部カバーの前面カバーを外す
（外しかた: P40）

2 漏電遮断器（2カ所）の電源レバーを下げ、「切」にする
電気の供給を停止します。

3 給水配管専用止水栓を閉じる
タンクへの給水を止めます。

4 非常用取水ホースを取出口に取り付ける

5 逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを手前に起こす
タンクへ空気を取り入れます。

6 非常用取水栓を開く
タンクの水（お湯）を取り出します。バケツなどで受けます。

〈取水が終わったら〉

7 非常用取水栓を閉じる

ポイント
- 再び使用するときは、逃し弁のレバーを戻し、非常用取水栓が閉じていることを確認してから、タンクに水を入れる（P42）を行なってください。

定期点検（有料）

温水器を少しでも長くお使いいただくために、3～4年に1度定期点検（有料）を行なってください。
定期点検については、据付工事店（販売店）または修理窓口（P55）へご相談ください。
点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

❑定期点検の主な内容

項　目	内　　容
据付状態	設置面（万一、水漏れが生じた場合、床下や下層階への水の浸入を防止するために、排水・防水できるようになっているか）、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認
機能部品	電気部品（配線、導通、動作の確認）、弁類（減圧弁、逃し弁）、給水用具（逆流防止装置）※ などの点検および消耗部品の交換 ※給水用具（逆流防止装置）に関しては、（社）日本水道協会発行の給水用具の維持管理指針に基づいて点検をします。
清　　掃	タンク内の清掃（沈殿物の除去など）、温水器のストレーナーの掃除、機能部品の掃除

- 長期間（10年程度）使用されている場合は、毎年定期点検をお受けください。

❑消耗部品

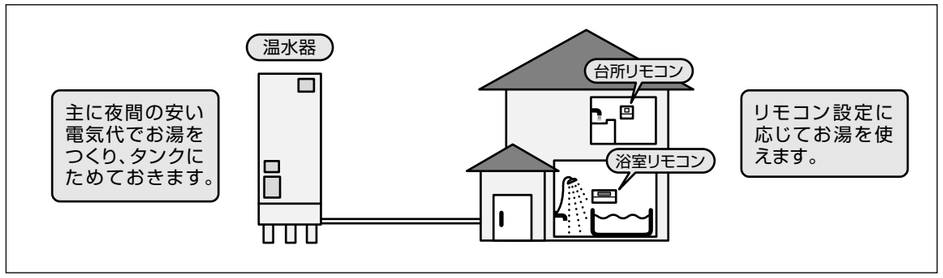
下記部品の交換時は、当社別売部品をご指定ください。

- 減圧弁　- 逃し弁　- 混合弁　- パッキン類
- ポンプ　- センサー類　- 電磁弁　- ヒーター

（使用水質によって3年程度で消耗・劣化しやすい場合があります。）

温水器の役割など

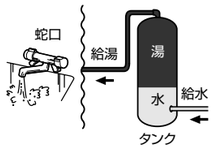
■温水器の役割



■温水器の基本原理

①自動給水・押上げ方式です

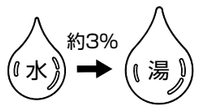
蛇口をひねると、タンク内のお湯は給水水圧によって押上げられ、タンク上部の給湯口より給湯配管を通って自動的に採湯することができます。使用したお湯の分だけの水が、給水口より水道水圧を利用して自動的にタンクに供給されますので、タンク内は常にお湯（水）で満たされています。



②水は体積膨張します

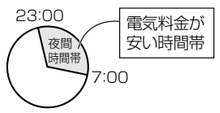
水がお湯になると必ず体積膨張を起こし、約3%増加します。

例えば、370Lの温水器では、約11L分増えます。この増えた分を逃す目的で逃し弁が取付けられます。わき上げ中に逃し弁からお湯が少しずつ排水されるのは、故障ではありません。正常な動作です。



③主に夜間に運転を行い、わき上げます

割安な夜間電力を利用して、タンク内のお湯をわき上げます。



④タンク貯湯式です

わき上げたお湯をタンクに貯湯し、水を混合させて設定温度での給湯を行います。
そのため、タンク内のお湯を使いすぎると湯切れすることがあります。

■「高圧力型」とは

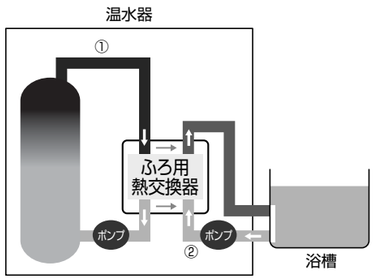
■「高圧力型」は、「標準圧力型」より勢いよくお湯が出ます。（通常使用圧力…標準圧力型:85kPa→高圧力型:170kPa）
■1階に据付けて2階でも使えるようになりました。（3階でも手洗い程度であれば使用できます。）
■「高圧力型」を事務所、店舗などでご使用する場合は、労働安全衛生法により書類の提出等が必要です。高圧力型電気温水器（小型温水ボイラー）に関係する法令として以下のものがあります。

●労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）　●労働安全衛生法施行令（昭和47年政令第318号）
●労働安全衛生規則（昭和47年労働省令第32号）　●ボイラー及び圧力容器安全規則（昭和47年労働省令第33号）

■追いだきの仕組み

タンクからの熱いお湯（図中①）と浴槽からのぬるいお湯（図中②）を熱交換器で**熱交換**することで、浴槽からのぬるいお湯をあたためます。**（追いだき）**

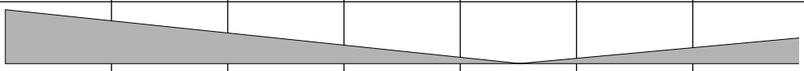
※ふろ配管は、独立した回路となっていますので、おふろのお湯がタンク内に入ることはありません。



注.説明に必要な部品、配管のみ記載しています。

■残湯量の見かた

タンク内の残湯量（45℃以上の お湯の量）をリモコンに表示します。
お湯が少なくなったときは、各リモコンに「 残湯なし 」が表示されますので、満タンわき増しを使用してください。

残湯量表示（台所リモコンで説明しています。）				残湯なし（点滅）	残湯なし（点灯）	残湯なし（点灯）	
お湯の量	ほぼ満タン	200L以上	75L以上 200L未満	75L未満	残湯なし（湯切れ）	75L未満	75L以上 200L未満
お湯の増減							
ふろ機能の制約 ふろ自動 / 追いだき / たっぷり	使用できます（※）				使用できません		使用できます（※）
ふろ機能の制約 ぬるく	使用できます						

※ふろ機能の操作は行えますが、タンク内の湯温によっては動作が途中で停止するなど、十分な性能が発揮できない場合があります。

ポイント

- 残湯量表示の「 ■ 」は45℃以上のお湯を表しています。
- 自然放熱などで、タンク内のお湯の温度が下がると、お湯を使わなくても表示が変わることがあります。
- 追いだきや自動保温はタンク内のお湯の熱を利用しています。そのため使い方によってはお湯が不足したり、追いだきや自動保温ができなく（「残湯なし」点灯）なることがあります。
- 設置直後など、1度もわき上げが完了していない場合は、お湯の増加とともに以下のように表示がかわります。

残湯量表示	残湯なし（点滅）	残湯なし（点滅）			
お湯の量	残湯なし	75L未満	75L以上 200L未満	200L以上	ほぼ満タン

■電力制度について

この電気温水器に適用できる電力制度は、**時間帯別電灯**と**深夜電力**とがあります。
ご家庭のライフスタイルに合わせてお選びください。

契約している電力制度と使える機能

機能 / 電力制度	わき上げ 夜わき上げて昼使う	わき増し お湯が減ったら自動的に追加でわかす（昼もわかせます。）	契約の概要
時間帯別電灯	○	○	家庭の電気製品すべてに対して 夜間時間帯（23:00～7:00）は通常の1/3以下の割引き料金、昼間時間帯（7:00～23:00）は通常の10%～30%程度の割増料金※が適用されます。 ※割増の程度は、電力会社により異なります。
深夜電力	○	×	電気温水器のみ、 夜間時間帯（23:00～7:00）は通常の1/3以下の割引き料金が適用されます。（昼間時間帯は通電されません。）電気温水器以外の電気製品は、通常の料金が適用されます。

注1.昼間時間帯、夜間時間帯は電力会社などにより異なります。　注2.電力制度については、電力会社または据付工事店（販売店）へお問合わせください。

仕様

形名			SRT-J37W4	SRT-J46W4	SRT-J55W4
圧力タイプ			高圧力型		
適用電力制度			時間帯別電灯（通電制御型）／深夜電力8時間（通電制御型）		
設置場所（推奨）			屋外		
タンク容量			0.37m³（370L）	0.46m³（460L）	0.55m³（550L）
定格電圧	時間帯別電灯契約時		単相200V		
	深夜電力契約時		深夜電力単相200V＋昼間電力単相200V		
定格消費電力	最大消費電力		4.6kW	5.6kW	6.6kW
	ヒーター	上部	4.4kW	5.4kW	6.4kW
		下部	4.4kW	5.4kW	6.4kW
	凍結防止ヒーター		60W		
	ふろ保温時		140W		
わき上げ温度			約75℃～約90℃		
外形寸法（高さ×幅×奥行き）			1830×630×760mm	2170×630×760mm	2100×700×825mm
製品質量（満水時）			78kg（448kg）	86kg（546kg）	94kg（644kg）
水側最高使用圧力			193kPa（逃し弁設定値）		
安全装置			漏電遮断器、温度過昇防止器、缶体保護弁		
給水器具認証書番号			W009-20001-106		

形名			SRT-J37WD4	SRT-J46WD4	SRT-J46WDM4	SRT-J55WD4
圧力タイプ			高圧力型			
適用電力制度			時間帯別電灯（通電制御型）／深夜電力8時間（通電制御型）			
設置場所			屋内・屋外			
タンク容量			0.37m³（370L）	0.46m³（460L）		0.55m³（550L）
定格電圧	時間帯別電灯契約時		単相200V			
	深夜電力契約時		深夜電力単相200V＋昼間電力単相200V			
定格消費電力	最大消費電力		4.6kW	5.6kW		6.6kW
	ヒーター	上部	4.4kW	5.4kW		6.4kW
		下部	4.4kW	5.4kW		6.4kW
	凍結防止ヒーター		60W			
	ふろ保温時		140W			
わき上げ温度			約75℃～約90℃			
外形寸法（高さ×幅×奥行き）			1830×630×760mm	2170×630×760mm	1800×700×825mm	2100×700×825mm
製品質量（満水時）			80kg（450kg）	88kg（548kg）	84kg（544kg）	96kg（646kg）
水側最高使用圧力			193kPa（逃し弁設定値）			
安全装置			漏電遮断器、温度過昇防止器、缶体保護弁			
給水器具認証書番号			W009-20001-106			

製品形名に「D」の付くタイプには、万一、温水器内で水漏れが起こった時、温水器への給水を自動的に止めて水漏れによる被害拡大を抑制する機能があります。（タンク内に貯まっているお湯（水）までストップするものではありません。）

故障かな?と思ったら

	症状	処置・確認事項
お湯	お湯が出ない 出が悪い	●給水配管専用止水栓が閉じている場合は、開いてください。 ●断水時は、断水が終わるまで待ってください。 ●配管凍結している場合は、混合水栓のハンドルを湯側にして解凍するのをお待ちください。復帰しない場合は、給水配管専用止水栓を閉じて据付工事店（販売店）へご連絡ください。 ●ストレーナーにゴミが詰まっている場合は、歯ブラシなどでゴミを取り除いてください。（P37）
	お湯が足りない	●お湯をたくさん使用した場合は、満タンわき増しをご利用ください。（P25） 注.満タンわき増しは、時間帯別電灯でご契約のお客さまがご利用できる機能です。 ●わき上げモードの設定が「少なめ」の場合は、「おまかせ」または「多め」へ設定を変えてください。（P26） ●台所リモコンに「わき上げ中」が表示されていないときに、逃し弁の排水口から水（お湯）が出ている場合は、逃し弁の点検を行なってください。（P36）
	お湯がわかない	●200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器（2カ所）の電源レバーが「切」になっている場合は、「入」にしてください。 ●停止日数設定中は、停止日数を解除し、満タンわき増しを利用してください。 （停止日数解除:P29、満タンわき増し:P25） 注.満タンわき増しは、時間帯別電灯でご契約のお客さまがご利用できる機能です。
	お湯が白く濁って見える	●水中に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けたときに細かい泡となって出てくる現象です。少し時間をおくと消えます。
	お湯から油がでる、 お湯が臭い	●初めて使用するときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。臭いが気になる場合は本書の手順（P40 P42）によりタンク内の湯を入れかえてください。 ●循環洗浄をお試しください。（P34）
	タンク内の温度が設定 した温度より低い	●タンク内の温度は、放熱によって時間の経過とともに少しずつ低下します。
	蛇口のお湯が設定 温度より低い、 水が出る、 変動する	●配管の放熱によって、温度が低くなることがあります。 ●湯切れしている場合、お湯は出ません。お湯がわくまでしばらくお待ちください。 ●タンク内の温度が低いときは、設定温度より低い温度のお湯が出ることがあります。 ●混合水栓で水と混合されている場合は、給湯温度よりも低くなります。 ●蛇口の開き方が少ないと、残湯があってもお湯が出ない場合があります。 ●ふろ機能（湯はりなど）中に停電があると、設定温度と異なる低温のお湯が蛇口から出ることがあります。 ●給湯中にふろ機能（湯はりなど）を行うと、温度が多少変動することがあります。
	浴槽の残り湯が臭う	●前日の残り湯を追いだき等をしてご使用になる場合、浴槽の湯が臭うことがあります。臭いが気になる場合はお湯を入れかえてご使用ください。 ●循環洗浄をお試しください。（P34）
	浴槽や洗面器等 に青い線がつく	●湯あかと銅配管等から溶出した銅イオンが反応して不溶性の青い銅石けんが付着したもので、身体に害はありません。台所用の油汚れ専用の洗剤をスポンジにつけてこすれば除去できます。こまめな清掃により湯あかがつかないようにすれば防止できます。
	浴槽の水が青く見える	●光の波長の関係や浴槽の色などによって浴槽の水が青く見えることがあります。浴槽等はよく洗ってください。青い線がつきにくくなります。
浴槽アダプター	浴槽アダプターから 汚れが出る	●浴槽アダプターのお手入れを行なってください。（P36） ●配管内にたまった汚れが出てきています。循環洗浄を行い、浴槽アダプターや配管のつまりなどの除去を行なってください。（P34） 注.浴槽内にタオルなどを持ち込むと、タオルの繊維等が汚れとして浴槽内や配管内、浴槽アダプターに残ることがあります。
	浴槽アダプターの内側が 赤っぽく汚れている	●浴槽アダプターの内側に付く赤っぽい汚れは湯あかですのでこまめなお手入れをお願いします。（P36）

	症状	処置・確認事項
温水器	排水口からお湯（水）が出ている	●わき上げ中（リモコンに「わき上げ中」が表示されている場合）は体積が増えた分のお湯が少しずつ排水されます。正常動作です。 ●リモコンに「わき上げ中」の表示がないときにお湯（水）が出ている場合は、逃し弁の点検を行なってください。（P36）
	夜間時間帯になってもすぐにわき上げを行わない	●給水水温が高い場合や残湯量が多い場合は、夜間時間帯になってもすぐにわき上げを行いません。夜間時間帯が終了する時刻に合わせてわき上げを完了させます。（ピークシフト機能）
	わき上げ停止設定中でもわき上げを行う	●外気温度が低下すると、凍結防止のため、わき上げを行うことがあります。
リモコン表示部	点灯しない（電源が入らない）	●漏電遮断器の電源レバー（2カ所）が「切」になっている場合は「入」にしてください。再度「切」になる場合は、そのまま据付工事店（販売店）へご連絡ください。
	リモコンの時刻表示が「00:00」で点滅する	●時刻を合わせ直してください。（P22）
操作	設定したわき上げ温度までわき上がらない	●以下のことを行うとタンク内の湯温がわき上げ温度まで上がらない場合があります。配管からの放熱や外気温度が低い場合も同様です。 ①台所リモコンに「わき上げ中」が表示されているときにお湯を使用した場合 ②わき上げモードの設定をかえた場合 （「少なめ」→「多め」または「おまかせ」→「多め」） ③給水水温が低く、残湯量が少ない場合 ●給水水温…10℃以下　●残湯量…20L未満
	わき増しの設定ができない	●電力制度の契約が「深夜電力」契約のお客さまは、わき増しを利用できません。電力制度の契約については電力会社へご相談ください。
	上部わき増しが勝手に入る	●タンク内の温度は放熱によって少しずつ低下します。わき上げモードで上部わき増しが設定されている場合、タンク内の温度がわき上げ設定温度よりも約10℃下がると、お湯を使用していなくても上部わき増しが開始されます。 注.上部わき増しは、時間帯別電灯でご契約のお客さまがご利用できる機能です。
	満タンスイッチを押してもわき上げを開始しない	●タンク内が既にわき上がっている場合は、わき上げを行いません。「満タンわき増し」を設定するとタンク内のお湯が約100L以上減ったとき自動的にわき上げを開始します。 ●夜間時間帯は、わき増しを行いません。 注.満タンわき増しは、時間帯別電灯でご契約のお客さまがご利用できる機能です。
	お湯を使っていないのに残湯量表示が消える	●自然放熱などで、タンク内のお湯の温度が下がると、お湯を使わなくても表示が変わることがあります。 ●保温や追いだきを行うと、タンク内のお湯の温度が下がり、残湯量表示が消えることがあります。
	湯はりができない	●リモコンに「U03」が表示されている場合は、P53の処置に従ってください。 ●リモコンに「残湯なし」が表示されている場合は、満タンわき増しを行なってタンク内をわき上げてから、湯はりをしてください。（P25） 注.満タンわき増しは、時間帯別電灯でご契約のお客さまがご利用できる機能です。 ●浴槽の残り湯が、浴槽アダプター付近のとき湯はりを行なうと、湯はりが途中で停止する場合があります。残り湯を排水してから湯はりを行なってください。 ●浴槽アダプターのお手入れを行なってください。（P36） ●循環洗浄を行い、浴槽アダプターや配管のつまりなどの除去を行なってください。（P34） ●断水時は湯はりできません。

	症状	処置・確認事項
操作	「湯はり温度」が設定した温度より低い	●湯はりの「温度」は目安温度です。浴槽内の温度は配管や浴槽に熱をうばわれるため、それよりも少し下がることがあります。次回から湯はりの温度を上げてください。 ●冬期は特に浴槽のお湯が冷めやすいので、ふたをして湯はり温度を上げてください。
	「湯はり量」が設定した量より多い（あふれる）	●浴槽に残り湯がある状態（浴槽アダプター以下）で湯はりを行うと、湯はり完了時に、残り湯分だけお湯が増えます。残り湯を排水してから湯はりすることをおすすめします。 ●浴槽の容量以上に設定されていないか確認してください。（浴槽の容量に対して7～8割が適正量です。） ●設定湯量を湯はりしますので、湯はり中に蛇口やシャワーからお湯をたすと、あふれることがあります。 ●循環洗浄を行い、浴槽アダプターや配管のつまりなどの除去を行なってください。（P34）
	湯はりが途中で止まる（断続的に湯はりする）	●これはポンプを運転し、ふろ配管の空気を抜く動作です。（ふろ自動ランプが点滅していれば正常に湯はりを行なっています。） ●特に設置後一週間程度は浴槽形状を学習するため、一回の湯はりで複数回停止します。
	ふろ自動運転を「切」にしているのにポンプが動作する	●以下の場合は、ポンプが動作することがあります。 ①ふろ自動運転を「切」にした直後 保温動作中（ポンプ動作中）にふろ自動運転はすぐには止まりません。 ②浴槽の凍結予防運転（P38）時（浴室リモコンに「凍結予防」と表示） ③追いだき中
	ふろ自動を「切」にしても浴槽アダプターから冷たい水が出る、または音がする	●ふろ配管の凍結予防運転（P38）を行なっています。 （浴室リモコンに「凍結予防」と表示）
	給湯温度を変更できない	●浴室リモコンの優先スイッチを押してから、給湯温度を変更してください。（P16）
	追いだきができない	●浴槽アダプターのお手入れを行なってください。（P36） ●循環洗浄を行い、浴槽アダプターや配管のつまりなどの除去を行なってください。（P34） ●湯はり中は使用できません。 ●浴槽のお湯が浴槽アダプターより少ない場合は、使用できません。 ●リモコンに「残湯なし」が表示されている場合は使用できません。満タンわき増しを行なってタンク内をわき上げてから、追いだきを使用してください。（P25） 注.満タンわき増しは、時間帯別電灯でご契約のお客さまがご利用できる機能です。 ●あつくスイッチを3秒以上押し続けてください。
	追いだきを中止（スイッチ「切」）してもポンプが動作する	●追いだきを途中で停止した場合、すぐには止まりません。配管内に残った熱いお湯を押し出すため、しばらくポンプが動作します。
	追いだきや自動保温が途中で止まるふろ自動ランプが勝手に消える	●リモコンに「残湯なし」が表示されている場合は、満タンわき増しを行なってください。（P25） 注.満タンわき増しは、時間帯別電灯でご契約のお客さまがご利用できる機能です。 ●浴槽アダプターのお手入れを行なってください。（P36） ●循環洗浄を行い、浴槽アダプターや配管のつまりなどの除去を行なってください。（P34） ●断水時はふろ自動（自動保温・自動たし湯）ができないことがあります。

症状		処置·確認事項
操作	予約した時刻に湯はりが完了しない	●浴槽に残り湯があると、設定時刻に湯はりが完了しません。残り湯を排水してから設定してください。
	音声ガイダンスが聞こえない	●「音声を切ります」以外の設定にしてください。 ●ベーシックタイプには音声ガイダンス機能はありません。
	通話できない	●通話スイッチを押してから約1分間以上たっている場合は、もう一度、通話スイッチを押してください。 ●音量設定が「最小」になっていて聞こえにくい場合は、「標準」または「最大」にしてください。 ●リモコンに向かって話していない、またはリモコンに近づきすぎている場合は、適切な位置で通話してください。 ●通話中にスピーカーから「ピー」という音が出る場合は、通話音量を下げてください。
	突然、リモコンのブザーが鳴る	●優先スイッチを押したときや給湯温度を60℃に変更したときは、リモコンの音声ガイダンスやブザーが鳴ります。
	台所リモコンの表示が消えている	●約1分間以上、スイッチ操作がない状態が続くと、自動的にバックライトが消灯します。(バックライト自動消灯機能)
	浴室リモコンの表示が消えている、時々点灯する	●「自動消灯モード」が設定されていると、温水器を使用しないまま約10分間たつとバックライトが消灯します。お湯を使ったり、いずれかのスイッチを押すと再び表示しますが、さらに約10分間使用しないままでいるとバックライトが消灯します。
	凍結予防運転を行わない	●凍結予防運転モードが「切」になっている場合は「入」にしてください。(P33)
	一度に複数個の残湯量表示が減る	●タンク内のお湯の温度が下がっているときにお湯を使ったり、湯はりなどで、たくさんお湯を使用すると、一度に複数個の残湯量表示が減ることがあります。
	追いだき使用量がとても多い	●浴槽アダプターのお手入れを行なってください。 ●ふろ配管があか等でつまり始めている場合がありますので、循環洗浄を行なってください。
浴槽	自動たし湯がはたらかない	●水位が下がってもすぐには設定水位にならない場合があります。 ●自動たし湯モードで自動たし湯「切」にしている場合は動作しません。(P33) ●浴槽水位が浴槽アダプター付近まで低下すると、その後自動たし湯を行なわなくなることがあります。 ●浴槽アダプターのお手入れを行なってください。(P36) ●循環洗浄を行い、浴槽アダプターや配管のつまりなどの除去を行なってください。(P34)

上記にしたがって処置をしても、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店または修理窓口(P55)へご相談ください。

リモコンにエラーが表示された場合

リモコンにエラーが表示された場合は、下記にしたがって処置をしてください。
処置をしても、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店または修理窓口(P55)へご相談ください。

表示	原因·処置
U00	●温水器の給水口にお湯が供給されています。温水器の給水口に水を供給してください。太陽熱温水器や給湯機が接続されている時は据付工事店(販売店)または修理窓口(P55)へご連絡ください。 ●給水配管専用止水栓(取付位置P40)が閉じているときに湯側の蛇口を開きました。給水配管専用止水栓を開いてから、湯側の蛇口を開いてください。 ●断水時や配管が凍結しているときに湯側の蛇口を開きました。断水時は断水が終わるまで待ち、湯側の蛇口を開いてください。凍結しているときは、給水配管専用止水栓を閉じて、据付工事店(販売店)へご連絡ください。
U01	●わき上げ用の電力が供給されていません。200V電源ブレーカーと本体の漏電遮断器(2カ所)の電源レバーを「入」にしてください。「入」にしても、2度、3度と「切」になる場合は、「切」のまま据付工事店(販売店)または修理窓口(P55)へご連絡ください。
U03	●浴槽の排水栓が閉じていない状態で湯はりをしています。浴槽の排水栓を閉じてから湯はりをしてください。 ●湯はり湯量が少ない場合は、浴槽アダプターがかくれるまで湯量を増やしてください。 ●浴槽アダプターのお手入れを行なってください。(P36) ●浴槽アダプターより上まで湯はりされている場合は、ふろ配管が湯あか等でつまり始めている場合がありますので、循環洗浄を行なってください。(P34)
U09	●停電などで初期設定に戻ったとき、浴槽にお湯(残水)が入っている状態で湯はりをしています。浴槽のお湯(残水)を排水してから湯はりをしてください。
F07	●タンクが満水でないとき「F07」が表示されます。 「F07」表示が消えるまで湯側の蛇口を開くか逃し弁のレバーを手前に起こして、タンクを満水(蛇口や排水口からお湯または水が出る)にしてください。
P05	●タンク内に水が無い場合は、タンクを満水にしてください。 ●給水配管専用止水栓(取付位置P40)が閉じている場合は、開いてください。 ●断水時は、断水が終わるまで待ってください。 ●配管凍結している場合は、給水配管専用止水栓を閉じて据付工事店(販売店)へご連絡ください。
H03	●温水器とリモコンが正しい組み合わせではありません。据付工事店(販売店)へ連絡し、正しい組み合わせのものと交換してください。
その他の表示(E05)など	●温水器の点検が必要です。200V電源ブレーカーと本体の漏電遮断器(2カ所)の電源レバーを「切」にし、給水配管専用止水栓(取付位置P40)を閉じてから、据付工事店(販売店)または修理窓口(P55)へご連絡ください。

アフターサービス

■保証書（添付）

●保証書は、必ず「お買上げ日、据付工事店名（販売店名）」などの記入をお確かめのうえ、据付工事店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。（取扱説明書、据付工事説明書なども保証書と一緒に保管してください。）

●据付工事説明書（別添付）で指定されていない当社指定部品を用いて使用した場合、故障が生じたときには責任を負いかねます。

保証期間

2年間	本体（逃し弁、減圧弁）、リモコン、リモコンケーブル、パッキン
3年間	ヒーター
5年間	タンク不良による水漏れ

※保証期間を延長できる「延長保証制度」があります。（詳細は下記参照）

■補修用性能部品の保有期間

●当社は、この製品の補修用性能部品を製造打切り後10年保有しています。

●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

●お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」（右一覧表）へご相談ください。

■修理を依頼されるときは

●「故障かな?と思ったら」（P49）にしたがってお調べください。なお不具合がある場合は、電源を「切」にしてから、据付工事店（販売店）にご連絡ください。

●保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって据付工事店（販売店）が修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金は

技術料＋部品代（＋出張料）などで構成されています。

●ご連絡いただきたい内容

●品名：三菱 電気温水器
●形名：（例）エスアールテー ジェー ダブリュウ SRT-J37W4
●お買上げ日：年月日
●故障の状況：できるだけ具体的に
●お名前・ご住所（付近の目印なども）・電話番号・訪問希望日

※形名は温水器の前面カバーに表示されています。（P7）

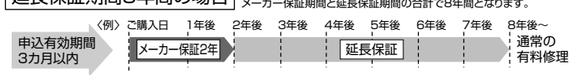
●施工上の不具合による故障及び損傷が生じた場合や据付（接続・調整等）、取扱説明を依頼された場合は保証期間内であっても無償保証の対象外となります。

延長保証制度

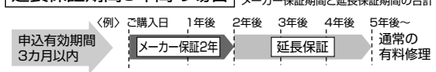
給湯機の保証期間は保証とアフターサービスに記載の通りですが、保証期間を延長できる「延長保証制度」をご用意させていただいております。延長保証期間が8年間と5年間の2タイプご用意しています。

〈保証期間〉

延長保証期間8年間の場合　商品購入日から8年間の長期保証
メーカー保証期間と延長保証期間の合計で8年間となります。



延長保証期間5年間の場合　商品購入日から5年間の長期保証
メーカー保証期間と延長保証期間の合計で5年間となります。



●製品ご購入時あるいはご購入日から3カ月以内にお申し込みください。
●延長保証はメーカー保証終了後からのスタートとなります。延長保証は、メーカー保証を含め、ご購入日〈使用開始日〉から8年間または5年間の長期保証となります。また延長保証終了後は通常の有料修理に移行いたします。
●保証金額は本体のご購入価格が限度となります。
●当制度の詳細は三菱電機延長保証申込受付センターまでお問い合わせください。

〈保証内容〉

延長保証期間中に対象商品に故障が発生した場合に、修理費を保証します。

保証する修理費用 = 技術料 + 部品代 + 出張料

〈延長保証対象商品と保証料〉2011年10月現在（保証料は変更する場合があります）

三菱 電気温水器	
8年間保証料 24,400円（税抜価格 23,238円）	5年間保証料 11,340円（税抜価格 10,800円）

〈資料のご請求は〉

三菱電機延長保証申込受付センター
0120-867-789
受付時間：平日午前9:00～午後5:30
（土日祝祭日、年末年始及び所定の休業日を除く）

ご相談窓口・修理窓口のご案内（家電品）

取扱い・修理のご相談は、まず
お買上げの販売店へ

●お買上げの販売店にご依頼できない場合（転居や贈答品など）は、各窓口 へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1.お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。

2.上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。

3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
②法令等の定める規定に基づく場合。

4.個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口　家電品の購入相談・取扱い方法

受付時間365日24時間

●三菱電機お客さま相談センター
いつもサンキュー　365日
フリーコール **0120-139-365**（無料）

携帯電話・PHS・IP電話の場合	
三菱電機お客さま相談センター 〒154-0001　東京都世田谷区池尻3-10-3 FAX（03）3413-4049（有料）	（03）3414-9655（有料）

■ご相談対応　平　日　9：00～19：00
土・日・祝・弊社休日　9：00～17：00
上記以外の時間は受付のみ可能です。

修理窓口　家電品の修理の問合せ・修理の依頼

受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター
フリーダイヤル **0120-56-8634**（無料）
インターネット **www.melsc.co.jp**
携帯電話サイト
空メールの送り先：**fc8634@melsc.jp**
またはバーコードからアクセス。
URLをメール返信します。

携帯電話・PHS・IP電話の場合		
北海道・東北 関東甲信越	東日本 修理受付センター FAX（03）3424-1115（有料）	（03）3424-1111（有料）
東海・北陸・関西 中国・四国・九州	西日本 修理受付センター FAX（06）6454-3900（有料）	（06）6454-3901（有料）

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。　K11A

●電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

困ったときは

12 自動でおふろにお湯を入れる

17 あつくする（追いだき）

22 時刻を合わせる

25 お湯が少なくなったとき

44 災害などによる断水

49 故障かな?

54 アフターサービス

46 温水器の役割

よくあるご質問

①追いだきができない、エラーも表示されない

浴槽アダプターの目詰まりが考えられます。フィルターを点検し、循環洗浄を行なってください。（P34 P36）

②浴槽アダプターから冷たい水が出る、または勝手に運転する

ふろ配管の凍結予防運転を行っています。P38

③お湯・水が出ない

給水配管専用止水栓が開いていること、ストレーナーのゴミ詰まりを確認し、それでも出ない場合は配管が凍結している可能性があります。お買い上げの販売店または「修理窓口」へご連絡ください。

④排水口からお湯（水）や湯気が出る

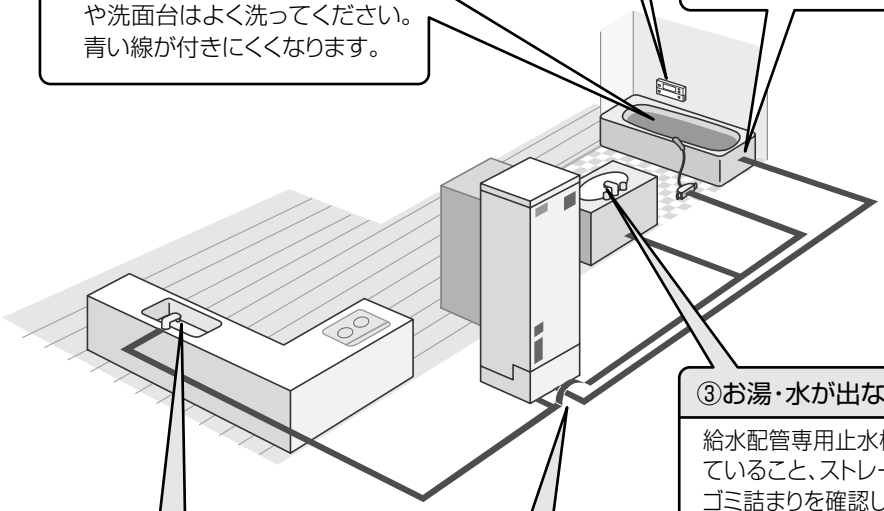
わき上げ中は、お湯が少しずつ排水されます。

⑤お湯の温度がリモコンで設定した湯温よりも低い

- 配管の放熱によって、温度が低くなることがあります。
- 設定温度または混合水栓の開き方を調節してください。

⑥浴槽の水が青く見える

光の波長の関係や浴槽の色などによって浴槽の水が青く見えることがあります。また、配管（銅配管）から溶出したわずかな銅イオンと湯あかが反応してできた銅石けんによって浴槽などが青くなることがあります。浴槽や洗面台はよく洗ってください。青い線が付きにくくなります。



製品形名〈製造番号〉	SRT-　　〈　　〉	据付工事店（販売店）の店名・住所・電話番号
台所リモコン形名	RMC-	
浴室リモコン形名	RMC-	
お買上げ日	年　月　日	

点検・修理時の覚え書きとしてご使用ください。

愛情点検

★長年ご使用の温水器の点検を!　●この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後10年です。

こんな症状はありませんか	●水が漏れている ●時々漏電遮断器がはたらく。 ●その他の異常や故障がある。	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源ブレーカー及び本体の漏電遮断器を切り、給水配管専用止水栓を閉じてから、据付工事店に点検・修理（有料）をご相談ください。

三菱電機株式会社

群馬製作所　〒370-0492 群馬県太田市岩松町800